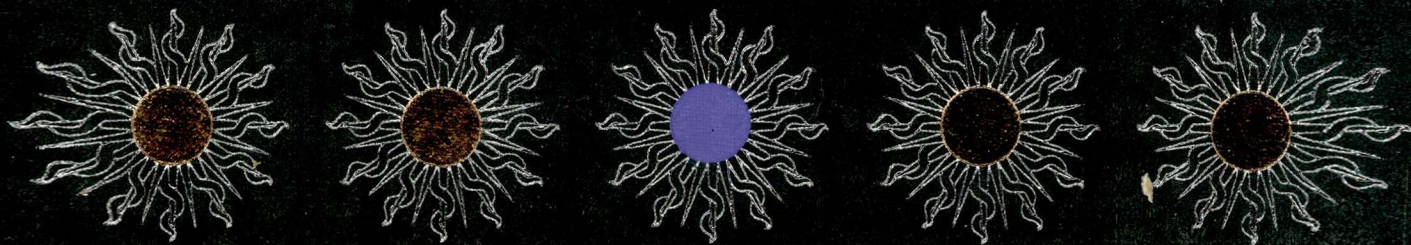

JAPONICA



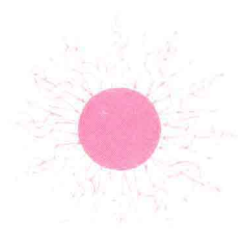
8



ENCYCLOPEDIA
JAPONICA



大日本百科事典



8

SHOGAKUKAN



ENCYCLOPEDIA
JAPONICA

大日本百科事典

ジャポニカ - 8

© 株式会社 小学館 1980年

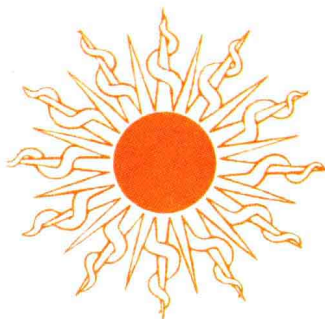
昭和44年 2 月 25 日 初 版 1 刷発行
昭和55年 5 月 1 日 新 版 1 刷発行

振替	電話	編集・東京 製作・東京 販売・東京	郵便番号 東京都千代田区一ツ橋二ノ三ノ一	発行所 株式会社	印刷者	編集者兼 発行者
東京八―二〇〇番	〇三―三三〇―五七三九	〇三―三三〇―五七三九	一〇一	小学館	澤村嘉一	相賀徹夫
製本	表紙用 特製色箔	独逸顔料工業株式会社	クロース	アート紙抄	王子製紙株式会社	印刷 凸版印刷株式会社
凸版印刷株式会社			ダイニツク株式会社	三菱製紙株式会社		

造本には十分注意しておりますが、万一、落丁・乱丁などの不良品がありましたら、おとりかえいたします。

Printed in Japan

ケ



け

け

紀 貫 之 書

け 五十音図カ行の第四音。音声記号は「ke」。無声子音「k」と母音「e」との結びついた音。ひらがな「け」は「計」の草書体、かたかな「ケ」は「介」の略体にもとづく。平安時代に多くの漢語がとりいれられて、従来の日本語にみられないクエ「Kue」のような拗音が用いられたが、それも鎌倉・室町時代ごろには直音化して「ケ」と同音になった。

毛 哺乳類の皮膚に生じる糸状の構造体で、硬たんばく質の*ケラチンからなる。表皮が陥入して生じた毛嚢の底部から硬たんばく質として生成される。毛の根底には結合組織性の毛乳頭があり、毛との接触部が毛母基hair-matrixで、こゝで細胞分裂がおこって毛の伸張が可能となる。毛の横断面はひげそり後のかみそりの刃を洗い、洗液を検鏡するとわかるように、中心の毛髄質と毛皮質からなり、前者にみられる気室は細胞が中空になったもので、隔壁で仕切られている。

〔ヒトの毛〕毛髪ともいい、手掌、指先の背面、足底、口唇、外陰部の一部を除く全身の皮膚にはえている。ヒトでは毛のはえている部位によって、頭髮・鬚毛（あごひげ）・腋毛・陰毛・眉毛・睫毛（まつげ）・鼻毛・耳毛・体毛の区別がある。かたくて太い毛を硬毛、そのうち頭髮などの長い毛を長毛、眉毛などの短い毛を短毛という。全身にはえている細くて柔かい毛は毳毛（うぶ毛）、思春期になって性ホルモンの影響を受けてはえてくる鬚毛・腋毛、陰毛は性毛と呼ばれる。毛の色、形状・湾曲・断面の形は、体部・個人・人種により異なる。日本人の毛は黒（褐）色であるが、白人種ではメラニンが少なく褐・黄・赤色などのものがある。毛には直毛・波状毛・巻毛（フロンド）・螺旋毛などがあり、毛の断面を見ると直毛では円形、波状毛では楕円形、縮毛では三角形や腎形などを呈する。

〔解剖〕毛は皮膚の表面に対して斜めにはえ、同一部位では多数同一方向に傾いていて毛流を示す。毛流は頭頂などでも毛渦（つむじ）をなしている。毛髪の先端は毛尖、皮膚表面から上に出ている部分を毛幹、下に埋まっている部分を毛根と呼ぶ。毛根の下端はタマネギ状にふくらんでいて毛球と呼ばれ、下

方から毛細血管と神経を伴う結合組織が毛乳頭としてはいり込んでいる。毛は三層からなる。最外層は毛小皮と呼ばれ、核のない角質の小板が屋根瓦状に重なり合っている。その内側は毛皮質で、毛髪断面の大部分をなし、多量のメラニンを有する細胞からなっている。この層のメラニン量によって毛の色が規定される。中心部は毛髄質といって細い上皮細胞索である。毳毛はこれを欠き、硬毛でも上方にはこの層がない。毛球を構成する細胞は、分裂増殖して上昇するとともに、そのなかにケラチン線維を生ずる毛母細胞と、毛に色素を供給するメラノサイトからなる。毛根を包んでいる袋状物は毛嚢と呼ばれる。外側から結合組織性毛嚢、上皮性毛嚢（ヘレン層・ハックスリー層）、鞘小皮が区別される。鞘小皮は鱗状を呈し、毛の表面の毛小皮とかみ合って毛を抜にくくしている。毛嚢が表皮下面と鈍角に交わる側には、皮膚の中に立毛筋と呼ばれる平滑筋がある。毛嚢と立毛筋の間に脂腺があり、毛嚢に開口して皮膚や毛の表面に皮脂を供給する。

〔生理〕毛は毛母の上皮細胞がその中にケラチン線維を生じながら伸びるが、いつまでも生長し続けるものではなく、それぞれ寿命があつて発毛と脱落がくり返される。毛が生長する生長期、生長が停止して毛根下端が立毛筋附着部の高さまで上昇する中間期、その後毛が脱落するまでの終期が区別され、終期にはすでに新しい毛が下方で生長し始めている。この一循環を毛周期と呼び、動物の種類や身体部位によって異なる。ヒトの頭髮の生長速度は一日に〇・二〜〇・四、毛周期は二〜六年に及ぶが、なかには二五年にわたるものもある。睫毛の寿命は三〜四か月という。

〔疾患〕量的および形態的異常がある。前者には多毛症・少毛症・無毛症・脱毛症がある。後者に属するものに白毛（白髪ともいい、頭髮の白変する壮年性白髪・老人性白髪・先天性白皮症に伴う先天性白毛・尋常性白斑に併発する白毛などがある。一般に毛髪色素の欠乏・消失によるが、急性に起こるものは毛幹内への空気の侵入によるものもあるとする説がある）、白輪毛（毛が黒白だんだらとなすもの）、連珠毛（連珠状を呈するもの）、

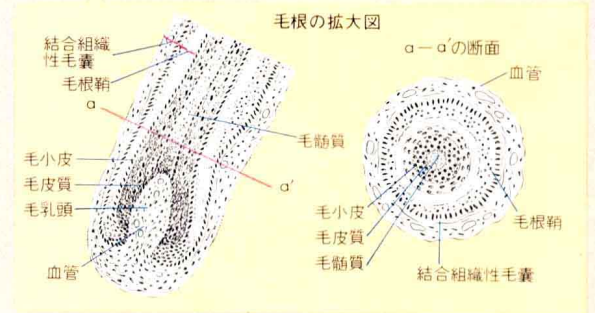
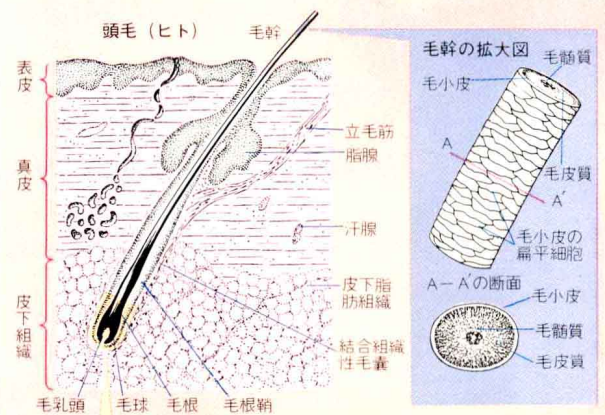
結節性裂毛症、毛髪縦裂症、縮毛などがある。

〔衛生〕毛はとりもなおさず身体の一部であるから、美しい毛を保持することは全身の健康と美容に通じる。したがって、バランスのとれた十分な栄養と摂生が必要で、かつ清潔にしておく。病的なものでなく、体質的に毛深い場合は目だたないように漂白（せっけん）で洗ったのちオキシドールやレモンの輪切りでこする。一日一回、数日間続ける。するのがよく、かみそりでそったり、脱毛クリームをいたすに用いると、かえって濃くなり目だってくる。毛髪も一日に数十本も抜けており、この生理的脱毛は秋に多くなる。洗髪は週に一〜二回、染髪は手入れを十分にする必要がある、忙しい人には適しない。

〔動物の毛〕哺乳類の体表には一般に毛が密生しており、これを毛衣という。しかし、ヒト・クジラ類・ゾウなどは毛衣が退化している。クジラ類の胎児にはわずかに毛がある。毛にはブタの剛毛、ハリネズミの棘などに変化したものもある。毛の色はネズミなどのように毛だけが灰色や黒色になるものと、テンジクネズミのように毛ばかりでなく、そのはえている皮膚まで毛と同じ色のものがある。無脊椎動物では毛と外観上類似した構造体に鞭毛・繊毛、カニなどの脚やはさみにみられる剛毛などがある。獣毛の大部分は一つの毛穴から長大な一本の毛（原毛）と、細くて短い多数の毛（副毛）がでていて、これを毛束と呼ぶ。ふつう毛束が三つぐらい集まって毛群をなし、このうち長大なものを上毛、細短なものを下毛というが、ヒツジなどではこの区別がはっきりしない。獣毛はまた、産業的にも重要である。すなわち、装飾や防寒用（毛皮）のほか、ヒツジ・ラクダ・カシミヤヤギ・アルパカ・アンゴラウサギなどの毛は毛織物に、タスキ・シカ・テン・リス・ネズミ・イタチなどの毛は筆に、ブタ・ウマ・シカ・ヤギ・ウサギなどの毛は刷毛に使われる。

〔植物の毛〕表皮細胞が変形して突出したものを総称するが、外観的に似ていても表皮細胞だけでなく基本組織や維管束にも関係するものは毛状体と呼び、いわゆる毛とは区別する。高等植物体の多くの部分にみられ、形や働きなどはそれぞれ異なる。サトイモの葉な

毛のしくみ



どにみられる乳頭突起は保護に役だっており、そのほか、タンホボなどのように種子の散布に役だつ散布毛、インゲンマメのように余分の水分を分泌する排水毛、食虫植物にみられる感覚毛や腺毛、あるいは根毛のように水分や水分に溶けた栄養分を吸収する吸収毛などがあげられる。 (川村太郎・石田寿郎)

hair (cheveux) Haar

K 英語のアルファベットの第一文字。

カリウム kalium の元素記号であるが単位記号としても用いられ、大文字ではケルビン Kelvin にちなむ絶対温度の K と Karat (金のカラット)、小文字では kilo=thousand (キロ)、kilogram (キログラム)、knots (ノット)、krone (デンマーク・ノルウェーの貨幣単位) などがある。また、king (王)、knight (ナイト) の略でもあり、KKK はアメリカの白人秘密結社クー・クリックス (Ku Klux Klan) の略称。

偈 仏教の經典および祖師の論書や解釈書のなかで、詩の形で仏徳を賛嘆し、または法理を述べたもの。梵語ガーター gatha の音写で、伽陀とも写し、頌とか讃ともいう。

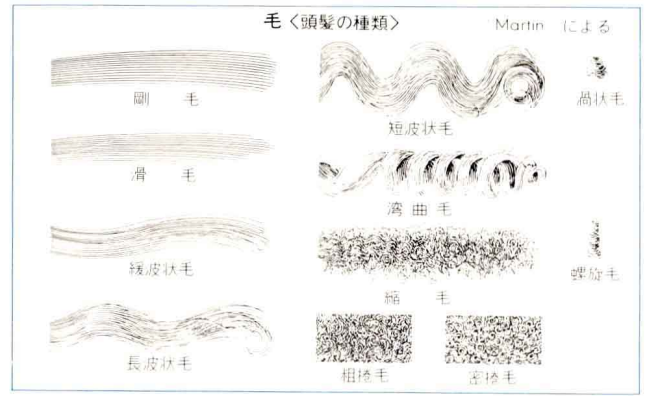
あるものは広くおこなわれて特別の名称をもつ。古来有名な七仏通誡偈「諸悪莫作、諸善奉行、自淨其意、是諸仏教」、無常偈「諸行無常、是生滅法、生滅滅已、寂滅為樂」、法身偈「諸法從縁生、如來說是因、是法從縁滅、是大沙門説」などがあって、仏教一般に通じている。経中の偈としては『無量寿経』の嘆仏偈・重誓偈や『法華経』の如來寿量品偈や普門品偈がよく知られている。天台宗・真言宗でも偈や頌を説法に用いているが、禪宗や浄土宗では、焼香や礼拝などの宗教儀式に偈を唱えるだけでなく、入浴や洗面のような日常の行作のなかにも偈の説誦をとりいれている。真宗で用いている正信偈（「歸命無量寿如來」ではじまる）は『教行信証』から抽出し、節をつけて読まれ、広く親しまれた偈の一つである。また複雑荘重な節回しで読む韻文を伽陀と称して、偈と区別するときもある。↑ガーター

解 養老令の公式令に規定された公文書の様式。令の規定では、支配関係にある役所間で、上級官庁から下級官庁に下す文書が「符」であるのに対し、下級官庁から上級官庁

に差し出す文書を解という。なかでも国司が太政官に差し出した解をとくに国解という。解は本来官庁が出す文書であったが、すでに奈良時代、諸家・個人が解を用いた例も多くみられ、広く上申文書として解が使用されるようになった。解は鎌倉時代になると減少していくが、売買文書と訴訟文書には比較的にそくまでこの形式がみられた。売買文書についてみると、奈良時代、土地の売買は当時者間の契約だけでは無効で、国司に申請し、その認可を必要としたため、売買文書は解の様式で書かれた。その後、律令制の衰退にもない、国司の認可を必要としなくなったが、売買証文に解の様式を使う慣習は鎌倉時代まで残っていた。

ゲー Ge ギリシア神話の大地の女神ガイアの異称。▽ガイア

ケア CARE Co-operative for American Remittances to Europe 欧州向けアメリカ救済物資発送協会。第二次世界大戦後、ヨーロッパ各国の疲弊を救済するため、アメリカの宗教慈善団体二五で結成した組織で、一九四六年発足。団体内の個人が、戦災



国の知人・縁者・宗教団体あてに、一個一〇「相当の小包をつくって発送した。この団体から送られる物資をケア物資といった。日本に対して、一九四七年八月から、この物資の一部が発送されたことがある。」(奥山益朗)

蹴上 けあげ 京都市東山区、左京区との境界に当たる一地区。往時から東海道の京都への入り口に当たり、維新前には多くの茶店などがあつたが、東海道本線の開通によって衰微した。一八九〇年(明治二三)琵琶湖疏水の開通によって、蹴上には船溜りやインクライン、日本最初の水力発電所が設けられた。現在では疏水は舟運・発電には利用されていないが、蹴上には疏水の水を利用する京都市上水道の浄水場がある。(織田武雄)

ケアシノスリ [毛足鷺] rough-legged buzzard/Buteo lagopus 鳥類・ワシタカ科の一種。北半球北部に広く分布し、ときおり冬鳥として北海道や本州に渡来する。翼長約四二センチ。主色は淡褐色だが、ノスリにくらべて全体に淡い。あしが羽毛でおおわれているのでこの名がある。尾は基部が白く、先端部が灰褐色。日本に冬鳥として渡来するのは亜種 *B. l. menzbieri* で、おもにシベリアで繁殖する。渡来数はきわめて少ない。(宇田川竜男)

ゲアドナー(湖) Gardner オーストラリア南部(サウスオーストラリア州)にある塩湖。エーア半島の北部に位置。長さ一六〇キロ、幅四六キロ。一八五七年ステフン・ハックらが発見。当時のこの地方の担当官吏ゲアドナーにちなんで命名した。平常は水が少なく、乾燥している。(別技篤彦)

ケアリー Henry Charles Carey (一八三二—一九一六) アメリカの経済学者。フィラデルフィアに生まれ、はじめ出版業を営んだが、一八三五年実業界から引退し、以後経済学研究に専心する。彼の経済思想は当初、古典学派のそれであったが、やがて古典学派を批判して、独自の国民主義経済学を完成させた。自由貿易を主張していた彼は、『過去、現在、未来』(一八八〇)において保護主義者に転じ、『社会科学原論』(一八八〇)において、その立場をいっそう強固にするとともに、協力原理にもとづく独自の経済学を体系化した。彼の古

典学派批判はアダム・スミスからリカード・マルサスに及んでいるが、なかでもリカードの地代論・賃金論、マルサスの人口論への批判は有名である。そのほか主著として『経済学原理』(一八七五)がある。(応和邦昭)

ケアリー Joyce Cary (一八八九—一九七二) イギリスの小説家。アイルランドのロンドンデリーに生まれ、オックスフォード大学卒業後、エジンバラとパリで美術を学んだ。バルカン戦争(一九一三—一四)に参加、ナイジェリアでの官吏生活を経て一九二〇年に帰国して作家生活にはいった。『ミスター・ジョーンズ』(一九三三)など初期のアフリカものでは、アフリカでの原住民とイギリス人政治家の關係に鋭い洞察を示したが、やがて芸術と政治とをそれらの主題とする二組の三部作を書いた。これらはおのおのに登場する三人の主要人物が一人ずつ順番に、一人称で物語するという形式が特徴で、傑作の評判の高い『馬の口』(一九三三)は芸術に関する三部作の一つ。評論『芸術とリアリティ』は小説美学の研究としてすぐれたものである。(前川祐一)

ケアンズ Cairns オーストラリア北東海岸クイーンズランド州の港市。人口約二・五万。一八七六年居住開始。付近のサトウキビ栽培の中心地となる。近年は観光事業も発展している。(別技篤彦)

ケアンズ John Elliot Cairnes (一八三一—一八七五) イギリスの経済学者。最後の古典派経済学者のうちの一人。アイルランドの醸造業者の子として生まれ、ダブリンのトリニティ・カレッジで化学を学んだが、卒業後経済学に関心をもつ。一八五六年ダブリン大学経済学教授、五九年ゴルウェーのクイーンズ・カレッジの経済学・法律学教授、六六年ロンドンのユニバシティ・カレッジの経済学教授となる。学説史上では、リカード経済学の流れに属しているが、J・S・ミルからも影響を受け、財の需給・生産費・賃金基金・国際価値などの理論を発展させた。なかでも、『経済学の若干の指導的原理の新展開』(一八七五)における「無競争集団」の理論は有名である。その他、主著として『経済学の性格と論理的方法』(一八七五)がある。(応和邦昭)

典学派批判はアダム・スミスからリカード・マルサスに及んでいるが、なかでもリカードの地代論・賃金論、マルサスの人口論への批判は有名である。そのほか主著として『経済学原理』(一八七五)がある。(応和邦昭)

ケイ John Kay (一八〇一—一八六六) イギリスの織布工、*飛び杼の発明者。ランカシャーのベリに生まれ、一七三〇年ごろから杼の製作に従事しているうちに、飛び杼を発明した(一七三三年五月二六日特許)。それはバッターの両側に杼箱がついていて、中に杼をはじきたすバネ仕掛けがあり、これを革紐で引いて動かす仕組みになっていた。この飛び杼のおかげで、布を織る速度が倍になり、一人で広幅物が織れるようになり、織布作業における道具から機械への移行に決定的な役割を果たした。しかしこの発明は、失業をおそれた織布工たちの反対をうけ、業者から使用料支払いを拒絶された。五三年ごろ暴動がおこり、家が襲撃されたので、フランスに逃げ、そこでひとり寂しく没した。飛び杼の使用は六〇年代に急速に普及した。一九〇八年ようやく彼の発明の革命的意義が認められ、故郷のベリに記念碑が建立された。(山崎俊雄)

ケイ Ellen Key (一八六九—一九二六) スウェーデンの女性思想家。リベラルな政治家の娘として生まれた。一八八〇年から二〇年間、ストックホルムの私立中等学校の教師をつとめ、かたわら労働者学院で文学史を講じた。その後はもっぱら著作活動に従事し、ヒューマニズムの立場から大胆率直な発言をして世界的に知られた。その範囲は文学史・婦人問題・教育問題にわたっている。彼女は主としてルソーとニーチェに影響を受け、社会的リベラリズムと個人の解放、とくにそれまで抑圧されていた婦人と児童の解放を主張した。(元)

ケイ (元) 『婦人運動』(一九〇三)『生命発展の方向』(一九〇三)『愛、日本でも評判になった『恋愛と結婚』はその第一部)など多くの著書があり、なかでも、『児童の世紀』(一九〇〇)は各国語に翻訳され、今世紀初頭の新教育運動のバイブルとなった。(松崎 巖)

ケイ Danny Kaye (一九二一—) アメリカの映画俳優・ホビュラー歌手。ニューヨーク市生まれ。下積みのボードビル役者から出発して、一九四一年ブロードウェイ・ミュージカル『レッツ・フェイス・リット』に出演して注目された。四三年以来、多くの喜劇映画に主演し、新しいタイプの喜劇スターとして人気を得た。『天国と地獄』(一九五五)『虹をつかむ男』(一九五七)『五つの銅貨』(一九五九)などが代表作。歌手としても柔らかな声を生かしたバラードやコミカル・ソングで親しまれ、戦災孤児救済運動などにも参加している。七〇年来日。(吉本 啓)

ケイ Nora Kaye (一九〇一—) アメリカのバレリーナ。一九三九年「バレエ・シアター」の創立に参加し、四二年チューダーの心理的バレエ「火の柱」で一躍名をなし、ドラマチック・バレリーナとして知られた。五一年、ニューヨーク・シティ・バレエ団に転じ、五四・六〇年「バレエ・シアター」に復帰、その後まもなく引退して、夫ハーパー・ロスのミュージカルや映画のための振付けの仕事を手伝っている。五三年(昭和二八)と五四年に来日、小牧バレエ団に客演。(光吉夏夢)

画に主演し、新しいタイプの喜劇スターとして人気を得た。『天国と地獄』(一九五五)『虹をつかむ男』(一九五七)『五つの銅貨』(一九五九)などが代表作。歌手としても柔らかな声を生かしたバラードやコミカル・ソングで親しまれ、戦災孤児救済運動などにも参加している。七〇年来日。(吉本 啓)

ケイ Nora Kaye (一九〇一—) アメリカのバレリーナ。一九三九年「バレエ・シアター」の創立に参加し、四二年チューダーの心理的バレエ「火の柱」で一躍名をなし、ドラマチック・バレリーナとして知られた。五一年、ニューヨーク・シティ・バレエ団に転じ、五四・六〇年「バレエ・シアター」に復帰、その後まもなく引退して、夫ハーパー・ロスのミュージカルや映画のための振付けの仕事を手伝っている。五三年(昭和二八)と五四年に来日、小牧バレエ団に客演。(光吉夏夢)

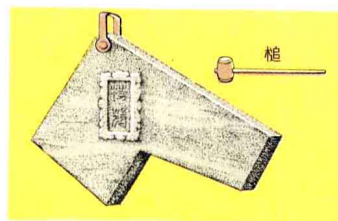
刑 けい 刑罰と同意義に用いることもあるが、刑罰が抽象的・一般的な呼称であるのに対して、特定人に言い渡される具体的・個別的なものを刑という場合もある。○刑罰系 けい 地質時代の年代区分単位の紀に対応する地層。岩石の区分単位を系という。たとえば、カンブリア紀に生成した地層群に対してカンブリア系、オルドビス紀に生成した地層群に対してオルドビス系という。系と系との境界は、大きな不整合や生物進化のうえの変化によって示されることが多い。↓地質系統

啓 けい 上代の文書様式の一。公式令の規定では、皇太子および三后(皇后・皇太后・皇太皇太后)に上申するときに用いる文書。諸役所・私人が事を皇太子に上申する場合は、文書を春宮坊に送り、春宮坊の啓をもって皇太子の認可を仰ぐこととなっていた。三后は皇太子の場合と同じ規定であった。しかし奈良時代には個人間の私的書状の書出しや書留めに「啓」「謹啓」などと書いたものが相当にあり、これらの文書も啓とよぶべきである。現在、手紙の書出しに使われる「謹啓」「拝啓」などはこのなごりである。(百瀬今朝雄)

野 けい 罨線ともいう。主として活版印刷で、線を表現するために用いる金属製の薄片で、その高さは活字と等しく、厚さは目的に

よっていろいろあるが、号またはポイントの寸法に合わせてつくられる。その種類は大別して、普通罫と飾り罫がある。その他、波罫（ブル罫）や点罫などがある。普通罫には、細一本線・太一本線・二本線・大小二本線（子持ち）・大小三本線（両子持ち）などがある。細一本線を表罫、太一本線を裏罫といい、互いに転倒使用する。活版組版技術の初期には、罫線や飾り罫を多く組みこむ手法が使われたが、その後、印刷面の可読性や美的効果をよくするため、罫線の制限使用の方向に移行している。とくに罫表組みでは、初期においては数字を縦・横に基盤目状に罫線で取り囲んだ形式が長期間無批判に採用されたが、可読性を害し組版面の美しさを低下するため、今日では数字の太字化や数字間をあきを調整するなどのくふうによって罫線は使われなくなっている。

（山岡謙七）



警 けい 寺院の読経（よみぎ）合図用に用いられる金属板の打楽器。山形（へ）の字形に彫金された横幅三〇センチ、縦幅一〇センチの青銅、または鉄の板金を、二個の耳で架けつり、角や木製の槌で打つ。磬の原形は古代中国の合奏楽に用いられた上質の玉製の石の楽器で、への字形の頂点でつられ、主音を示す特磬という大形のもの、音階音をもつ一六個を二段につけた編磬との二種があり、孔子廟祭典で演奏された。

（黒沢隆朝）

ゲイ gay ホモセクシュアル、すなわち男性間の同性愛を意味する。ゲイ・ボーイは、いわゆる男色家の相手となる青少年であり、彼らが常時たむろしている酒場をゲイ・バーという。↑男色

ゲイ John Gay (一六九三—一七三三) イギリスの詩人・劇作家。ロンドンの絹織物商に奉公したリ、貴族の秘書としてドイツに渡ったこともあったが、のち文学を志し、保守党系の文人と交わり、ユーモラスな長詩『トリピア』

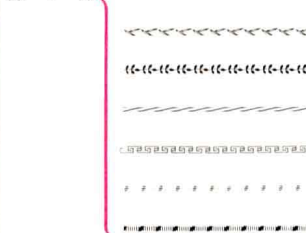
（加藤祥三）

（七五）を書いたが、彼の名を後世に伝えるのは俗謡オペラの代表作といわれる『乞食オペラ』（七五）である。ここには、自由党内閣に対する激しい風刺と正統派イタリア歌劇に対するからかいがこめられているが、民謡や流行歌を巧みにとり入れて絶大な人気を博した。翌二九年統編『ボリー』を書いたが、政治風刺のため、上演を禁止され、初演は一七七七年となった。晩年は財産を失い憂鬱症にかかっていた。

罫の種類

表	罫
中	太罫
裏	罫
リーダー	罫
点	罫
ミ	シン罫
波	罫
裏	波罫
か	すみ罫
無	双罫
双	柱罫
子	持罫
両	子持罫

飾り罫



芸 げい 師につけた修業し、または独力で研究して身につけた文・武・芸能の「わざ」をいう。今日ではもっぱら芸能の分野に閑して用いられる。たとえば、演劇・舞踊の場合は、与えられた役の思想・性格・感情などを、言葉や行為のうへの的確に表現する技術をいう。「芸がうまい」「芸がまずい」という評言は、表現技術の巧拙をいう言葉である。また、音楽でいえば、その曲のもつ感情や情調を、的確に、しかも個性的に演奏したり歌ったりする表現技術である。日本古来の「芸」の概念を、翻訳語である「技術」に置きかえてみると、基本的には、同じであるはずであるが、なにか微妙な相違を感じる。すなわち、「芸道」という言葉があるように、「芸」の深奥には「技術」だけでは尽くしえない部分、技術プラス精神といった神秘的な部分が存在すると考えられていたのである。それはきわめて東洋的な発想にもとづくといつてよからう。

（斎藤早川書房）

（小津次郎）

多かつたが、このとき卑姓出身の京官にも外位を授け、勤務状況をみて内位に進めることにした。以後、平安中期にも外位の授与はなかつたわけではなくが激減する。《渡辺直彦》

六四八—五二二年（慶安一—五）。一六四八年（正保五）二月一日改元、慶安元年となり、五二年九月一八日に至り、改元して次の承応元年となる。出典は『周易』に、「乃終有慶、安貞之吉、地無疆」などあるによる。徳川三代將軍家光および四代將軍家綱の時にあたる。

（小野信三）

（小野信三）

（小野信三）

（小野信三）

（小野信三）

（小野信三）

（小野信三）

（小野信三）

（小野信三）

（小野信三）

（小野信三）

（小野信三）

（小野信三）

（小野信三）

（小野信三）

（小野信三）

（小野信三）

（小野信三）

（小野信三）

（小野信三）

（小野信三）

（小野信三）

（小野信三）

（小野信三）

（小野信三）

（小野信三）

（小野信三）

（小野信三）

（小野信三）

（小野信三）

（小野信三）

（小野信三）

（小野信三）

（小野信三）

（小野信三）

（小野信三）

（小野信三）

（小野信三）

（小野信三）

（小野信三）

（小野信三）

（小野信三）

（小野信三）

（小野信三）

（小野信三）

（小野信三）

（小野信三）

（小野信三）

（小野信三）

（小野信三）

（小野信三）

（小野信三）

（小野信三）

（小野信三）

（小野信三）

（小野信三）

（小野信三）

（小野信三）

（小野信三）

（小野信三）

（小野信三）

（小野信三）

（小野信三）

（小野信三）

（小野信三）

（小野信三）

（小野信三）

（小野信三）

（小野信三）

（小野信三）

（小野信三）

（小野信三）

（小野信三）

（小野信三）

（小野信三）

（小野信三）

（小野信三）

（小野信三）

（小野信三）

（小野信三）

（小野信三）

（小野信三）

（小野信三）

（小野信三）

（小野信三）

（小野信三）

（小野信三）

（小野信三）

（小野信三）

（小野信三）

（小野信三）

（小野信三）

（小野信三）

（小野信三）

（小野信三）

（小野信三）

（小野信三）

（小野信三）

（小野信三）

（小野信三）

（小野信三）

（小野信三）

（小野信三）

（小野信三）

（小野信三）

（小野信三）

（小野信三）

（小野信三）

（小野信三）

（小野信三）

（小野信三）

（小野信三）

（小野信三）

（小野信三）

（小野信三）

（小野信三）

（小野信三）

（小野信三）

（小野信三）

（小野信三）

（小野信三）

（小野信三）

（小野信三）

（小野信三）

（小野信三）

（小野信三）

（小野信三）

（小野信三）

（小野信三）

（小野信三）

（小野信三）

（小野信三）

（小野信三）

（小野信三）

（小野信三）

（小野信三）

（小野信三）

（小野信三）

（小野信三）

（小野信三）

（小野信三）

（小野信三）

（小野信三）

（小野信三）

（小野信三）

（小野信三）

（小野信三）

（小野信三）

（小野信三）

（小野信三）

（小野信三）

（小野信三）

（小野信三）

（小野信三）

（小野信三）

（小野信三）

（小野信三）

（小野信三）

（小野信三）

（小野信三）

（小野信三）

（小野信三）

（小野信三）

（小野信三）

（小野信三）

（小野信三）

（小野信三）

（小野信三）

（小野信三）

（小野信三）

（小野信三）

（小野信三）

（小野信三）

（小野信三）

（小野信三）

（小野信三）

（小野信三）

（小野信三）

（小野信三）

（小野信三）

（小野信三）

（小野信三）

（小野信三）

（小野信三）

（小野信三）

（小野信三）

（小野信三）

（小野信三）

（小野信三）

（小野信三）

（小野信三）

（小野信三）

（小野信三）

（小野信三）

（小野信三）

（小野信三）

（小野信三）

（小野信三）

（小野信三）

（小野信三）

（小野信三）

（小野信三）

（小野信三）

（小野信三）

（小野信三）

（小野信三）

（小野信三）

（小野信三）

（小野信三）

（小野信三）

（小野信三）

（小野信三）

（小野信三）

（小野信三）

（小野信三）

（小野信三）

（小野信三）

（小野信三）

（小野信三）

経営経済学は、企業の実体を経営としてとらえ、経営の経済現象を理論的に解明することを目ざすもので、それはさらに、経営の経済現象を客観的に説明しながらそこに内在する法則性を探究する経験学派と、経営のあるべき姿（内容は共同体理論）を説く規範学派に二大別される。経験学派はさらに、単なる説明科学としての理論学派と、因果法則を目的・手段関係に変換して政策論をうち出す技術論派に分かれる。近年は、後述するアメリカ経営学の影響を強く受け、学問論（方法論）よりも問題解決に重心が移行し、内容の充実に努める傾向が強い。

アメリカ経営学は、当初から実践的色彩が強く、今世紀初頭の科学的管理法を源流とし、経営者のための経営管理学（マネジメント）として発達したものが長く主流を占めてきた。それは、経営管理の機能を、たとえば計画・組織・統制のように分析し、各機能を有効に実践するための原理・原則や技法を研究するものである。その性格が一般経営学であるため、しばしば普通学派とよばれ、今日ではまた、後述の現代的管理論に対比されて、伝統的管理論・古典的管理論などともよばれる。アメリカ経営学ではつづいて、伝統的管理論の経験規範的性格を批判し、システム論や行動科学の成果を応用しながら仮説を立て、それを検証し、法則化するという方法論によって記述科学としての経営管理論を構築する方法が、一九五〇年代以降に現われてくる。これらを現代的管理論とよぶが、それはまた、取り扱う主題に即して、組織論的経営学・意思決定論的経営学などともよばれることもある。以上はいずれも一般経営学に属するが、アメリカ経営学のなかには、企業経営学に属する学派も存在する。制度派経済学の流れをくみながら、「資本と経営の分離」の研究を軸にして企業の特徴を理論的に分析する制度派経営学、近代経済学の方法を経営に適用するマネジリアル・エコノミクス（ビジネス・エコノミクス）、数学的経営管理技法の開発を中心としたマネジメントサイエンス（経営科学・管理科学）などがそれぞれある。アメリカ経営学の全貌は、「マネジメント・ジャングル」という表現があるほど、

多岐をきわめている。

日本の経営学は、大正末期におけるドイツ経営学の輸入に始まったが、第二次世界大戦前はそれが主流であったため、観念的・思弁的の学問に終始した。戦後は、一転してアメリカ経営学が主流を占めるようになり、理論と実践の関係も密接になった。また、ドイツ経営学との交流が復活し、マルクス主義に立つ批判経営学や日本独自の日本経営学も加わって、現状では世界でもっとも複雑な様相を呈している。

〔体系〕経営学の体系を、取り扱う問題に即して立てると次のようになる。(1)経済性ないし収益性という統一原理によって企業の本質を論じる企業理論、(2)企業の外形的・内在的特色を説明する企業形態論と企業体制論、(3)企業における経営管理の中心部分を研究する経営目的論・経営戦略論・意思決定論、(4)企業の構造的側面を研究する経営組織論、(5)企業の経済的側面を研究する経営経済論、(6)経営管理の各部分を研究する生産管理論・財務管理論・労務管理論などである。〔森本三男〕
〔漢利重隆責任編集〕『経営学辞典』（二六）東洋経済新報社）▽森本三男著『経営学の原理』（二六）中央経済社）

経営革新 けいえいかくしん 技術革新に対応させて経営面の革新を総称した言葉。技術革新は、資本・労働・流通・生産・管理方法などすべての経営活動に大きな影響を与え、一方で大きな企業危険を意味しながら、他方ではそれに遅れると競争の敗北に至ることを意味する。しかも技術革新のテンポはますます早まっている。このような情勢に対処するには、旧来の経営方法では不十分で、革新的な変化が要求される。対外的には予測・調査・計画にオペレーションズリサーチのような科学的技法を使い、新製品の調査開発（R&D）を強化し、対内的には事務合理化・間接部門合理化・無欠点運動（ZD）や機動的組織の採用などが推進されている。これら内外の体制を一元化する革新の基本は、個性的な経営理念を基盤にした経営戦略とシステム化である。後者は、大量の情報電子計算機によって即時的に処理し、経営各部の有機結束を強化する。〔森本三男〕

経営家族主義 けいえいかくしん 家族制度に基礎をおく家父長的温情主義を経営の運営原理とすること。家父長の温情主義では、家父長ないし主が対内・対外の両面にわたって絶対的権力を専制的に行使する反面、家族構成員を庇護する義務を負っている。家族構成員は、庇護を恩恵として受けとり、その反対給付として忠誠を誓い、家族として帰属するのである。経営家族主義では、家父長にあたるものは経営者であり、家族構成員にあたるものは従業員である。経営者は単に機能的な指揮・監督・雇用者であるばかりでなく身分的に庇護者であり支配者でもある。経営者は仕事上の問題だけでなく、仕事を離れた従業員の個人的生活の面にも介入し、めんどろをみる。従業員はこれを当然の恩恵として受けとり忠誠をささげ、生産にはげむのである。労使関係には対立面と統一面があるが、経営家族主義はその対立面を庇護と忠誠に代置き、民主化を抑圧してきた。〔森本三男〕

経営管理 けいえいかんり 経営における各種業務の遂行が経営目的のためにもっとも効果的におこなわれるよう、諸種の施策を体系的に講ずること。初期の経営管理は、経営者の経験と勘をもとにしておこなうものであったが、経営規模の拡大、経営内容の複雑化、経営環境の急激な変化は、経営管理の科学化を必然的に要求する。その出発点は、今世紀初頭の科学的管理法に求められる。〔階層構造〕経営管理の機能は、階層的に上は取締役会から下は現場監督者に至る、すべての経営者や管理者の担当する機能である。したがって、経営管理は階層的な機能分化を生み出す。その基準は、経営の意思決定機能と執行機能の分化である。前者は経営者の担当する経営機能であり、経営の存立に関する組成機能（設立・解散・改組・最高人事）、経営の経営的運営に関する決定機能、および経営活動の全体的成果を評価する監視機能からなる。これらの中心になるのは決定機能であり、経営活動の基本的路線である経営戦略、それを具体化する各種の経営構造（資本構成・製品構成・労働力構成・設備および技術構成・流通構成など）、構造運用の指針となる経営政策（価格政策・配当政策・広告政策など）、

および構造と政策を期間的活動予定として示す経営計画、とくに長期経営計画を決定することがその内容となる。経営機能は、取締役会によって遂行されるのを典型とする。経営管理の執行機能とは、所与の構造と政策の中で経営の日常活動を最高能率的に遂行するよう指揮・監督する機能である。これを狭義固有の管理機能というが、それは、さらに階層的に全般管理・中間管理・現場管理に分化する。全般管理は、執行を全体的に指揮・監督するもので、社長・副社長・専務・常務などがこれにあたる。中間管理は部長・課長を、現場管理は職長・主任などを典型的機関とする。経営機能と管理機能とは、ともに指導的（リーダーシップ）機能であるところから、これを合わせて経営管理とし、経営管理の対象となる被指導的な作業機能と対照せられる。〔活動別構造〕経営管理は、経営活動の内容に応じて分化し体系化される。工業経営を例にとれば、その活動は財務（資本調達）雇用（購買）製造（販売の活動を循環反復する。こうして、それぞれの部分活動を合理的に遂行させるための経営管理（たとえば、財務管理・雇用管理など）が成立する。また、このような活動別経営管理は、単に以上のような主要活動に成立するばかりでなく、これら主要活動を側面から援助する補助活動についても成立する。運搬管理・在庫管理・事務管理などがその例である。〔マネジメント・サイクル〕経営管理は合理的におこなわれなければならないが、その合理性は、組織的思考と計算的思考によってさえられる。事業を組織化し、計数的に考慮することがそれである。これら二つの思考の展開として、組織的管理ないし実体的管理と、計数的管理が成立する。またあらゆる経営管理は事前・事中・事後における合理性と有効性の確保につとめる。それが計画・組織・統制というマネジメント・サイクルになる。事前に行動を合理的に予定することが計画であり、それは組織を通じて執行される。統制は、計画と実績を対照し、実施を批判・検討し、必要なら是正活動を講じ、また、それらの内容を次期計画へ反映させる。これらサイクルにおいて、経営計画の良否は、全体を

決定的に左右する。

〔経営管理の課題〕経営管理が多様化する
と、全体経営と部分経営管理との連結と一体性をいかに確保するかが問題になってくる。この点は、経営者によるリーダーシップと電子計算機を中心とした経営管理システムの形成によって、調整と統合を強める方向にある。もう一つの課題は、経営管理に科学性を注入するスタッフ部門をいかに活用するか、またそれをライン部門といかに調和させるかという問題である。

〔森本三男〕

経営教育 けいえいきょういく 経営がその構成員の能力啓発を目的としておこなう教育を総称する。経営教育は、経営成果を向上させることを直接目標とするが、単にそれだけの理由ではなく、人生の多くの部分を経営内で生活する構成員に対し自己充実の機会を与えるという社会的必要にも結びついている。経営教育の内容は、技能教育・リーダーシップ教育・スタッフ教育・新入社員教育・人づくり教育などに大別される。技能教育は職業訓練としてかなり古くからおこなわれたもので、技術者・セールスマン・事務員・各種工員などに、それぞれ業務遂行に必要な技能を教育するものである。リーダーシップ教育はT W I (training within industry) や M T P (management training program) のような現場・中間管理者に対する部下の指導を中心とした教育、E D P (executive development program) のような経営者教育であり、後継者教育の内容とする。狭義固有の経営教育は、このリーダーシップ教育だけをさす。スタッフ教育は管理技術の教育が中心であり、人づくり教育は人格教育を内容とする。各種経営教育は、その内容が一定のコースに編成されているか否かによって、定型経営教育と非定型経営教育に分けられる。また教育の場所や方法によって、O J T (on-the-job training) と O f f J T、社内教育と社外教育、集合教育と個別教育、講義方式・ロールプレイング・ケース・スタディなどに区別できる。

〔森本三男〕

経営協議会 けいえいきょうぎかい 企業の一一般の計画、経理内容や方針、従業員の人事・待遇問題など、企業の生産・経営、従業員の労働条件などに関し、従業員・労働者の代表と経営者が協議する機関。歴史的には第一次世界大戦中にイギリスにおかれ、続いてドイツ・フランスなどに設けられた。日本では大正末期から昭和初期にかけて、二・三の経営に設けられたが、本格的に設けられたのは、第二次世界大戦後である。日本の労働組合は組織形態が企業別であるため、経営協議会と団体交渉との区分は不明確になりやすい。経営協議会は組織も機能も固定したものではないが、大別すると経営参加の機能と団交類似の交渉の機能がある。現在は戦後の労働運動高揚期にかなり多くみられた経営参加の側面は後退し、むしろ団体交渉の一環としての機能が強い。協議会の決定は労働協約の一部とされることも多い。↓労働協議制

〔菊池高志〕

経営計画 けいえいきけいかく 広義には企業経営に関するすべての計画をいうが、狭義には、それらのうち経営者が決定する基本的・全社的・長期的計画のみをいう。広狭いずれであれ、経営計画は行動予定の一種であり、それが経営方針や経営戦略のような経営計画以外の行動予定と異なる点は、計画が期間(時間)的限定を設け、しかも計数(金銭・物量など)の形で行動を予定的に表現することにある。時間もまた計数の一種であるから、経営計画の特色は計数的行動予定である。

経営計画の必要性は、経営の合理性向上のためにある。人間や組織は全知全能ではないから、その行動には不確定性と危険がつきまとい、それが目標達成を阻害する。不確定性や危険を減少し、制約された範囲のなかで合理性を高めるためには、経営環境を分析し、目標を明確にし、阻害要因克服のための行動について複数の代替案を設計し、各代替案を評価し、一つの代替案を選択して行動予定とする、というステップが踏まれる。このようにして、経営計画は合理性向上の不可欠の手段となる。

経営計画は、全体として体系性を維持するよう諸種のものに区分される。第一に、その内容がカバーする期間によって長期経営計画と短期経営計画に区分し、必要に応じて中期経営計画を加える。この期間区分には画一的基準はないが、一営業期間(一年)を越えるものを長期、一営業期間内のものを短期とすることが多い。理論的には、企業の構造変化(たとえば規模拡大のための投資計画)に関するものを長期、一定の構造を前提にした行動に関するものを短期とする。第二に、計画内容が経営過程のどの部分に関係するかにより、調達計画・在庫計画・製造計画・販売計画などに区分する。第三に、経営を構成する生産的資源に応じて、財務計画・労務計画などに区分する。過程別計画と資源要素別計画は、ほぼ組織部門の編成計画と一致するので、一括して部門計画とよばれることが多い。第四に、企業は実体的側面と価値的側面をもつが、これら両面に対応して実体計画と価値計画に区分する。前者の例は製品計画・教育計画などであり、後者の例は利益計画・予算などである。第五に、研究開発・合併など特定問題に関するプロジェクトプランと、期間的限定的な各種行動を網羅する期間計画(ペリオドプラン)に区分する。第六に、経営のどの範囲を対象とするかによって、基本計画と実施計画に区分する。前者は狭義経営計画であり、構造的・価値的・長期的・プロジェクト的・戦略的性格が濃厚である。後者は各級管理者が決定する具体的執行計画であり、短期的部門計画であるのがふつうである。

〔森本三男〕

古川栄一編『経営計画』(一九三三、同文館出版)▽水野瑞穂『経営計画論』(一九六〇、丸善)

経営計算制度 けいえいきさんせいど 経営に関する各種計算制度の総称。簿記・原価計算・統計などその範囲は広い。それを事前計算と事後計算という観点から大別すると、一般の財務会計目的の諸数値を求める計算体系は後者に属し(↓財務会計)、経営意思決定のための諸計算技術などは前者に属する(↓管理会計)。また、物量計算と価値計算という観点から、原単位計算と各種の価値計算に分けられるが、これは特殊なものである。(遠藤久夫)

経営権 けいえいきけん 法律上、独立した経営権という権利が存在しない。第二次世界大戦後、労働組合が経営に介入を要求したとき、使用者側が労働者側の労働権に対照させて経営権という用語を用いた。その内容は、所有権と契約に関する法的機能のなかに含まれている。経営学的には、経営権は経営者の対外的・対内的オーソリティ(権限)であると考えられる。対内的オーソリティは、経営内部の従業員を機能的に指揮・統率しうる影響力をい、ふつうこれを権限という。対外的経営権は、経営をとりまぐ株主・労働組合・金融機関・政府・顧客・地域社会などの利害者集団に対し、自己の経営の利害と自主を主張し、経営の維持・発展をはかることをいう。もちろん、権限一般がそうであるように、その反面には責任が付着する。対外的経営権の責任は、社会的責任である。かくて経営権とくに対外的経営権は、経営の社会性・公益性・公益性と不可分のものとなる。

〔森本三男〕

経営工学 けいえいこうがく ①インダストリアルエンジニアリング

経営合理化 けいえいきりかりか 経営がその目的達成の有効性を高めるため、在来の状態を改変することを総称していう。それは経営という組織体の目的合理性を高めることにほかならない。経営合理化は、経営の各種構造に即して展開される。経営の構造は、対外的システムないし対社会的構造と、対内的システムないし狭義の経営構造と二分される。これに対応して、経営合理化も対外的合理化と対内的合理化に二分される。対外的合理化は、市場開拓、流通構造の改善、製品構成の変更、立地政策、公害対策などの形で具体化される。そのねらいは、各種利害者集団と円滑な公衆関係をもつことにある。対内的経営構造は、生産機能的な技術的構造と人間関係的な社会的構造とからなる。技術的構造の合理化は、経営合理化の中心となるもので、生産設備・生産方法・組織などの改善がおこなわれる。そのねらいは、生産能率の向上である。社会的構造の合理化は、生産意欲ないし勤労意欲の向上を実現するため、福利厚生の実施、情報や決定への参加、物的非物的な成果の分配など従業員の満足を高める諸改善をいう。経営合理化の測定尺度は、全体的には生産性によって代表されるが、それは各種の費用性、時間的尺度に分解される。しばしば経営合理化は、労働強化や解雇と同一視され、そのゆえに非難される。それは過去の利潤追求第一

主義の実態を反映する見解であり、真の合理化ではない。↓産業合理化 （森本三男）

経営財務 けいえいざいむ 経営において生産要素の一つである資本の問題を取り扱う領域をいう。しかしその範囲と問題性の考え方には、二種のものがある。第一は、資本の調達および処分活動だけを問題にするもので、資本調達論・会社金融論・株式会社財務論の名称をもつ伝統的な経営財務論である。この考え方に立つ経営財務では、大規模株式会社成立による証券資本の調達を問題とし、各種株式や社債の種類を法律的・経済的に詳細に説明し、また株式会社設立手続、運転資本の調達、利益処分、株式・社債の発行手続、合併や企業整備の財務などを述べている。これに対して第二の立場は、前述の資本調達中心の経営財務を外部投資機関本位の考え方でないと批判し、真の経営財務の問題は、調達した資本をいかに運用するかという経営の見地に立たなければならぬとする。これが財務管理論の名で呼ばれるものである。ここでは、資本の運用形態である固定資産や流動資産に関する計数的管理だけでなく、経営の損益状態の管理にまで及んでくる。そのための手法として、従来の財務諸表を中心とした経営分析はもとより、資金運用表による資金管理、利益図表などによる利益管理、総合的計数管理方式としての予算統制を含む。最近ではさらに、資本投資の問題をも含めるようになってきた。一般に、伝統的な経営財務を狭義経営財務とし、これと財務管理を合して広義経営財務という。 （森本三男）

経営参加 けいえいさんか 広義には、企業の経営機能、すなわち経営方針の設定、最高人事、全体的活動に関する計画や組織の決定に、労働者側が直接・間接を問わずならぬかの形で参画すること。狭義には、従業員もしくは労働組合の代表が、経営者機関に参画することだけをいう。いずれの場合も、経営参加の基本理念は、産業民主主義と労使協調におかれており、直接の意図としては、労働者側の参加による生産性向上があげられる。

狭義の経営参加の代表例は、西ドイツの共同決定法（一九五）および経営組織法（一九五）における労働者代表の経営者機関への参加で

ある。共同決定法は鉄鋼・石炭業に適用され、原則として監査役会（ほぼ日本の取締役会に相当）を労使各五人、中立一人で構成する。経営組織法の三分の一が労働者代表とされること、監査役会の三分の一が労働者代表とされること、監査役会制度を規定している。広義の経営参加には、イギリスにみられる全国・地方・工場別の労使協議制度や、アメリカにみられる利潤分配制度・従業員持株制度が含まれる。概して経営参加はヨーロッパでさかんであり、アメリカの場合は、むしろ労働者の大衆株主化による経営参加（一般株主の資格で）が主眼になっている。日本では、経営参加はほとんどみられず、わずかに労使協力の一環としての経営協議会があげられる程度にすぎない。 （森本三男）

経営士 けいえいし 顧客の依頼に応じて経営の適否を診断し、改善点を助言しあるいは立案呈示し、その効果の実施を指導する人。マネジメント・コンサルタント・経営コンサルタント・ビジネス・コンサルタント、または単にコンサルタントともいう。この職業はアメリカで今世紀初頭に始まり、各国に次第に普及した。初期には現場作業の能率向上を中心にしてきたが、次第に経営管理全般に及ぶようになってきた。それと同時に、経営士の中にも専門化が発生し、人事労務・販売・事務・生産・組織・最高経営などに細分化する傾向もでてきた。ただ財務会計については、公認会計士に依存するのがふつうである。日本でも、第二次世界大戦後この職業が急速に発展したが、一九五一年（昭和二六）以降、日本経営士会や経営管理士会のような同業団体が結成され、経営士の資質の向上につとめている。 （森本三男）

経営者 けいえいしや 企業の経営について最高の意思決定を下し、経営活動の全体的遂行を指揮・監督する人または機関。その機能は、臨時的機能と経営的機能とからなる。臨時的機能は、企業の設立・改組・合併・解散などの基本的存立に関する組織機能と、取締役・監査役、その他重要職位に関する最高人事である。経営的機能は、資本・製品・労働力・流通・設備などの構造（構成）とこれら構造を運用する基本方針や長期計画の決定、

全体的経営活動の指揮・監督、経営活動の全体的成果を批判・検討する監査からなる。現代の株式会社では、臨時的機能は株主総会に、経営的機能は取締役会にあるから、形式的にはこれら両者が経営者機関といえる。しかし実際には、社長を中心とする若干の取締役が、前記諸機能を遂行しており、これらの人々が真の経営者であるといえる。かつては出資者がそのまま経営者になるのがふつうであった。出資者で同時に経営者でもある人を企業者という。ところが、大規模企業の出現は、一方では、出資者の多数化による所有の分散と、出資者の投資家化を生みだし、他方では複雑巨大化した生産手段の有効な運用のための特殊な専門的能力を必要とするに至った。かくて従来の出資者がそのまま経営者になる企業者時代は去って、出資と経営とを分離し出資者でない専門経営者が企業を動かす時代が必然的に到来する。アメリカの政治哲学者パーナムは、産業社会時代における専門経営者が、社会の中心である産業経営を支配することによって、社会の指導的地位につくとし、これを経営者革命と呼んだ。専門経営者は能力人であるから、素質のある人間を選抜して後継経営者として育成し、継続企業の要求と合致させなければならない。経営者教育や経営者セミナーがさかんなのは専門経営者時代の特色である。 （森本三男）

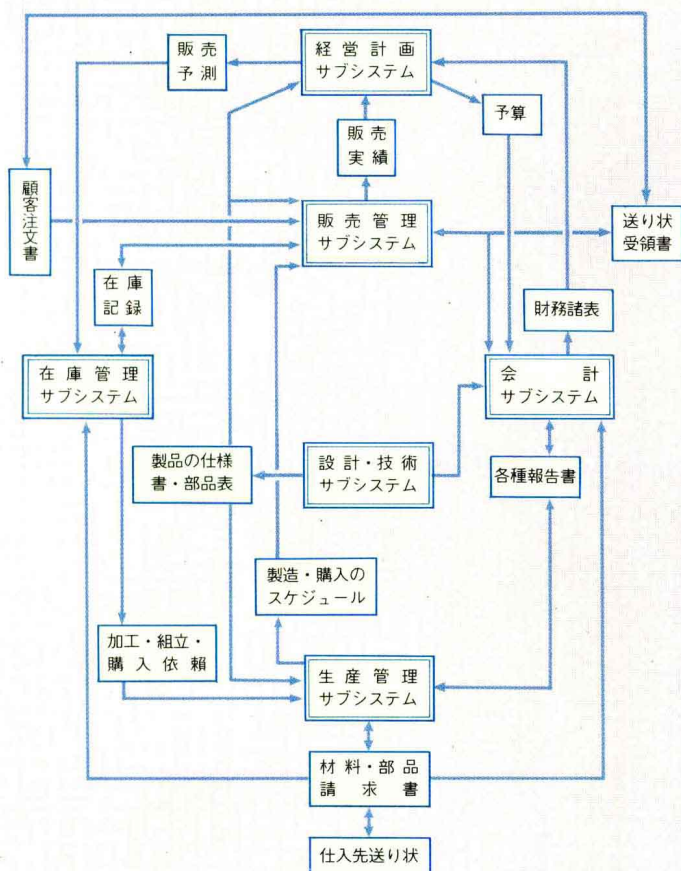
経営社会学 けいえいしやがく 経営を一つの社会現象としてとらえる産業社会学の一分野。第二次世界大戦前の古典派経営社会学と、その後の近代派経営社会学に分けられる。古典派経営社会学は、経営における人間的社會過程と技術的生産過程の關係に問題を見だし、人間性疎外をその本質としてとらえ、それを回復・緩和し、人間のアトム化からの脱出を課題とした。古典派の観念性と人間性疎外に偏重した命題を批判し、実証研究や人間關係論の成果を駆使するとき、近代派経営社会学が生まれる。それが主として研究する分野は、職場集団の人間關係の側面、背後にある階級や社會關係の分析を含めた労使關係の社会学、労働組合組織の人間社會的側面、経営と地域社會などの相互關係の分析など、きわめて多岐にわたる。古典派がドイツで主

として展開されたのに対し、近代派はアメリカの影響がひびくように強い。また前者には後ろ向きな悲観が多く、後者には前向きな楽観がみられる。 （森本三男）

経営者革命 けいえいしやかくめい アメリカの政治哲学者 J・パーナムが一九四一年に発表した理論。資本家が支配している資本主義社會のあとにくるのは、マルクス主義でいわれるような労働者が、支配權をにぎる社會主義社會ではなく、複雑巨大化した生産手段を現実に運営し、そこから生まれる成果の分配に指導力をもつ経営者が支配權をにぎる経営者社會である、と説く。この場合の経営者には企業家の経営者だけでなく、經濟官僚のような専門家が含まれている点に注意を要する。パーナムはこのような経営者社會が、専門経営者の出現した資本主義國だけでなく、当時のナチスドイツやソ連にも出現しつつあるとした。このような経営者革命論に対しては、一方で生産手段の公有を説きながら他方で経営者による労働者の搾取がおこなわれるという論理矛盾をおかしている、本質的に機能資本家を経営者に置きかえただけの擁護論にすぎない、などの批判がみられる。 （森本三男）

経営情報システム けいえいしやほうしやう 経営の意思決定の必要性を高めるため、経営内外の関連情報を、有効にに応じて即時かつ大量に、収集・伝達・処理・貯蔵・利用できるよう編成した人間と電子計算機の結合システム。原語 management information system の頭文字をとって、単に M I S ということもある。この場合、意思決定ということとは、きわめて広義に考えられているから、たとえば階層的にみれば、狭義の経営情報システム・管理情報システム・作業情報システムからなり、職能別にみれば、財務・購買・生産・労務・販売などの各情報システムからなるということができる。しかしこれら各サブ情報システムは、個別的にシステム化を推進してきており、こと新しく経営情報システムという主張がなされる理由は、それら各既存システムの有機的結合をはかる必要が今やきわめて大きいということによる。電子計算機の大形化と、システム・エンジニアリングの進歩は、このような要求にこたえている。経

経営情報システム (MIS)



経営情報システムの設計にあたっては、発生場所別・用途別・階層別・部門別・保存年限別に、必要な情報の種類と内容を確定することが第一の課題となる。第二に、各情報の質と量を定めることが課題となる。第三に、情報の伝達・処理のスピードをどのようにするかの課題がある。これらを基礎に、収集・処理・伝達のネットワークを設けると、経営情報システムが出現する。

〔森本三男〕

経営心理学 けいえいしんりがく 経営活動を人間の社会行動という側面から心理学的に研究する学問。広義には、産業に関する心理学的研究の全分野を包括して経営心理学ということもあり、この場合は産業心理学と同一になる。また狭義には、経営活動のうち、経営管理に関連する人間関係の問題だけを取り扱うこともある。学問の歴史が新しいだけに、その対象領域も広狭さまざまである。経営心理学として多く問題にする内容は、つぎのようなものがある。(1)経営管理に関連する人間

関係の問題―勤労意欲や適性の基礎になる人間の基本的欲求、対人関係に伴う感情、パーソナリティの特性に由来する個人差など、心理学の知識を援用して人間関係の特性を究明する。職場内の人間関係を、たんに個人的対人関係の合計や平均としてではなく、個人関係をこえた統合として動的にとらえようとするところに焦点がある。(2)経営組織のグループダイナミックス的理解―前述の人間関係の動的な特性をつかむ分野である。ある組織構造は、どのような生産性をもたらし、あるいは発展・衰退を生じ、分割・統合する働きをもつかを集団組織の力学的過程として明らかにする。(3)経営者の心理―経営者の経営動機は何か、またそのリーダーシップの心理的基盤はどのようなものか、経営者が指揮・監督の際の注意力のような心理的境界はどこにあるかなどを研究する。(4)顧客の心理―顧客といっても中心は消費者になる。購買動機の究明や広告効果の測定が中心になる。この

点で市場調査法の発展や、臨床心理学で発達した深層面接法などは大きな力となっている。産業心理学と同一範囲を考えた場合、これは、このほかに作業動作・知覚作用・疲労現象などの生理現象に伴う心理の研究が付け加えられることになる。

〔森本三男〕

経営組織 けいえいそしき 経営目的を達成するため、必要な諸活動を多数の経営構成員に分担させ、その諸関係を規定し、諸活動が全体として有効におこなわれるよう統合した協働のシステムをいう。経営組織の第一の要素は、経営目的の存在である。ところが経営目的には、包括的・抽象的・全体的な上位目的(たとえば存続・成長)から、具体的・部分的な下位目的(たとえば原価の低下)に至る連鎖体系があり、経営組織は目的の連鎖に対応して、全体的目的を追求する全体組織とそれを構成し、それに内包されながら部分的目的を追求する各種部分組織(部課・工場・営業所など)に分けられる。部分組織のとな

え方のうち、もっとも広くおこなわれるのは、経営管理組織と作業組織に二分するものである。経営組織の第二の要素は、多数の協働者すなわち経営構成員の存在である。組織が大規模化し、分業が徹底してくると、多数の協働者がすべて目的を主体的に理解し、協働を意欲的に起こさなくてはならない。むしろ多くの者は、賃金獲得などの手段として経営組織にはいつてくる。このように経営目的とは別の個人目的を抱く多数の者に協働を持続させるには、賃金に代表される物的誘因や地位・機会のような非物的誘因を準備しなければならない。経営組織の第三の要素は、組織目的を各組織構成員に周知させ、また各人が合理性の高い行動をすることができるよう、必要な情報を伝達するコミュニケーションである。それは、指揮命令・責任・権限関係の明確化、報告制度の整備、各種会議、経営情報システムなどによって具体化される。

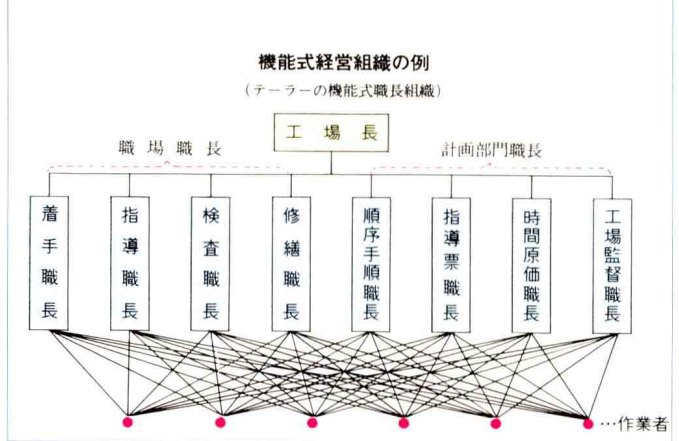
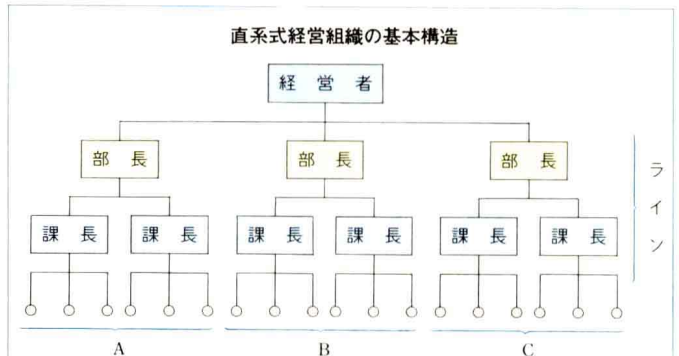
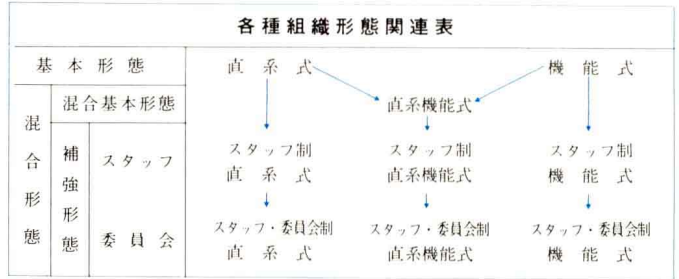
〔森本三男〕

経営組織を狭義に考える場合には、目的達成に必要な各種の仕事すなわち機能を配分し、各種の職位や機関を設定し、それら各種の職位や機関の責任・権限関係を規定化した組織構造だけをいう。組織図に示されるような静態的な機構が、そこでは経営組織とされる。しかし、このようなマシンモデルは、現実の経営組織の一面でしかない。現実の経営組織は、狭義の経営組織である組織構造を基本にもちながら、感情や性格を異にする生きた人間が職位を占め、機関を構成して相互葛藤をくり返しながら活動を営んでいる。そこで経営組織を動態的にとらえるために、まず基本的に人と物と技術のシステムとしてとらえ、それが意思決定によって動いていくとされる。つまりマン・マシン・システムと情報システムの統合として、経営組織をとりあげようとするところに、新しい経営組織観がある。

〔経営管理組織〕経営者と管理者によって構成され、経営の意思決定とその指示、執行上の監督・報告などを円滑におこなうことが要求される。この組織は経営規模の拡大と経営内容の複雑化とともに膨張して階層化し、部課―係のような垂直的分担関係の明確化を迫られる。この関係の組織原則には、職務権限の原則と例外の原則の二つがある。前者は職務分担に重複やすまがなければならないことと、責任・権限が職務内容に対応した同等の大きさであるべきことを要求する。後者は、経営者や上層管理者が日常反復的な経営的意思決定をできるかぎり下層管理者に委譲し、みずからは革新的な例外事項の処理に専念すべきことを要求するものである。階層化は規模拡大に伴う必然の産物であるが、それは経営管理の遅鈍化や不正確化、管理費用の増大などの欠陥を招来する。そこで、一方では下層者に大幅な自主性を与えるとともに、他方では電子計算機を中核にした効率的な情報システムを用いることにより、階層の省略をはかる動きが盛んである。課制廃止はその例である。経営管理組織には各種の形態があるが、基本形態として直系式(軍隊式・直線式ともいう)と機能式があり、これらに付加される補強形態としてスタッフ(参謀部)と

委員会の両者がある。また、これらを組み合わせた混合形態が存在するが、その関連は右の表のとおりである。実在の経営組織はほとんどスタッフ委員会制直系式組織である。直系式では指揮監督の一元性によって組織規律は保持されるが、専門化を十分に導入できない欠陥がある。その反対に、専門化を重視し規律保持を犠牲にするのが機能式である。直系式でも図の部分組織ABCが同質の職務を遂行するような純粋直系式は皆無で、各部分組織が生産行程別（財務・購買・製造・販売など）、地域別・製品別などになっている部門別直系組織が一般である。

〔作業組織〕生産現場の直接業務活動に従事する者の組織で、水平的な分業関係を中心とする。作業組織にもいくつかの類型がある。生産手段を基準にすれば、手工業組織・機械作業組織・装置作業組織に分けられる。生産方法を基準にすれば、町工場のような簡便式作業組織、機械の種類ごとに工場や職場をつくる機種別作業組織、製品別の品種別作業組織、流れ作業組織に分かれる。生産技術につ



いてみると、作業工程が比較的単純で加工が一貫して進行する進行連続作業組織、一種の原料を加工分解して数種の製品にする分解連続作業組織、数種の部品生産過程を経て完成品にそれら部品を集約する組立て作業組織に分けられる。また、注文生産方式が市場生産（見込み生産）方式かによって、作業組織のあり方は変わってくる。

〔最近の特徴〕組織の簡素化と激変する情勢に対処するため、固定的な分掌を廃して、適宜問題別にチームをつくり、問題の進行に応じて規模やメンバーを自由に組みかえていく弾力的組織が多くなってきた。またスタッフのような間接部門の比重をなるべく軽減しようとする努力も有力である。

経営分析 けいえいぶんせき 企業の経営活動の状態やその将来性を洞察するためにおこなう分析。財務分析・財務諸表分析と同一視されることもある。企業が発表したデータをもとに外部の者がおこなう分析を外部分析という。企業内部の者が内部資料によっておこなう分析を内部分析という。分析の方法には、

比率法・実数法・趨勢法・損益分岐点分析法などがある。実数法のうちには、財務諸表の比較による分析、利益増減分析、資金運用分析などがある。なお、経営分析と類似したものに経営比較があるが、これは方法的観点からの区別で、両者の分析方法が有機化されるにすぎない。これらの区別も意義を失ってきた。

一般に外部分析は、内部分析に比較して利用しうるデータが限定されるから、概括的な推論しかできない。しかし両者の問題意識は比較的接近している。以下、外部分析を中心に説明をおこなう。外部分析も内部分析も、その方法は、目的意識の点から安全性分析と収益性分析とに大別することができる。

(1) 安全性分析 企業経営の安全性ないし流動性を判定するために企業の資金状態を観察するものである。つまり、給付（財貨・用役）の動きに着目して把握されたデータから、反対給付（資金）の動きを洞察しようとするものである。信用供与者・納入業者が、相手方の支払能力を判定するときなどに用いられる。この場合、比率法のうち次ページの表aのような方法を用いる。①②③は貸借対照表を基礎とした静態比率で、④⑤⑥は高いほうがよく、⑦⑧⑨は低いほうが健全である。しかし、資金状態の良否や経営の安全性の真の姿をみるためには、動態比率を重視する必要がある。このために用いられるのが⑦⑧⑨の回転率である。⑦は100%以下が望ましい。⑦は⑧⑨に分解される。⑧⑨のデータが得られないときは⑧⑨のデータで代用する。

比率法・実数法・趨勢法・損益分岐点分析法などがある。実数法のうちには、財務諸表の比較による分析、利益増減分析、資金運用分析などがある。なお、経営分析と類似したものに経営比較があるが、これは方法的観点からの区別で、両者の分析方法が有機化されるにすぎない。これらの区別も意義を失ってきた。

一般に外部分析は、内部分析に比較して利用しうるデータが限定されるから、概括的な推論しかできない。しかし両者の問題意識は比較的接近している。以下、外部分析を中心に説明をおこなう。外部分析も内部分析も、その方法は、目的意識の点から安全性分析と収益性分析とに大別することができる。

軽演劇 けいえんげき 歌舞伎、新派など大劇場演劇に對比して名づけられた大衆演劇で、とくに喜劇的要素をもつものをさしている。重工業に対する軽工業といった発想によるもので、一九三二年（昭和七）ごろから使われはじめた言葉である。軽演劇が出現したのは、昭和初期の不景気の時代で、東北地方では飢饉のため娘を売る農家が続出し、都会では、

(2) 収益性分析 企業の生命力ともいえるべき収益力を判定するためのものである。この場合に用いられる比率は、表bのようになる。①②③の資本・利益率は、収益性を総合的に示す指標で、高いほうがよい。これは、さらに⑤⑦の売上高利益率と、⑧⑨の資本回転率に分解でき、両方とも高いほうがよい。たとえば②に示すように、総資本利益率は売上高純利益率と総資本回転率に分解できる。なお比率法には、このほかに百分率損益計算書や百分率貸借対照表によって分析をおこなう構成比率法などもある。↓損益分岐点 ↓資本回転率

敬遠 けいえん 元来は『論語』雍也篇の一節「民の義を務め鬼神を敬してこれを遠ざく」とから出た言葉で、敬意を払って近づかないというのが原義であるが、転じて、尊敬するように見せかけて、実はきらべて親しめない意に用いられる。とくに今日では、「敬」の意がほとんど薄れ、単にきらべて避ける、気づまわりで親しめないなどの意に用いられることも少なくない。

桂園一枝 けいえんいち 香川景樹の歌集。三巻。一八三〇年（天保一）刊。作者が、近世の大歌人としての面目にかけて、その生前に公刊した自選歌集である。そのため史上類例がないほど非難と弁護の論が明治時代までもつづいた。しかし彼は「桂園一枝案」などにみられるように、努力して推敲し極度に厳選したから、自信をもっており、門下に対しては自叙も試みている。この集は、彼の歌論を実践した清新な作に富んでいて、「桂園一枝拾遺」（公刊）とともに近世和歌史上の名著である。（『山本嘉将』）

校註国歌大系18（『全国民国歌株式会社』）▽『日本古典文学大系93 近世和歌集』（岩波書店）



慶応義塾大学。幻門から図書館を望む。図書館は創立五〇年を記念して建てられた

には島村竜三・伊馬鶴平(春部)らがあり、後に穂積純太郎・阿木翁助・中江良夫らに加わり、軽いユーモアをまじえた風刺劇でインテリファンから人気を博し、第二次世界大戦後の五年(昭和二六)閉鎖するまで通算五〇回の公演をもち、藤尾純・有馬是馬・竹久千恵子・左卜全・若水やエ子・楠トシエ・市村俊幸・森繁久弥ら多くのタレントを送り出した功績は大きい。無声映画の弁士たちの余技「ナヤマシ合」から成長した「笑いの王国」は三三年(昭和八)四月に東京浅草の常盤座で旗揚げした。徳川夢声・大辻司郎・松井翠声・山野一郎・生駒雷遊・古川緑波・三益愛子・清川虹子らが役者として参加したが、のちに古川緑波は東宝専属となり、軽演劇の中心は浅草から丸の内銀座街に移った。第二次世界大戦がはげしくなるにつれて軽演劇は凋落の一途をたどり、終戦後は「ストリップ」があらわれて、そのエロティシズムに圧倒された。しかし民間放送の開始とともに軽演劇出身者はラジオ・テレビに進出し、めざましい活躍ぶりをみせている。

《土方正巳》

桂園派 けいおん 派は、近世後期に、香川景樹の創始した和歌の流派およびその門流をいう。桂園派は、近世歌壇の最盛期を代表する大結社で、景樹の『桂園一枝』刊行当時でも社友は一〇〇〇に上った。全国にまたがるこれらの人々は、景樹の一世を風靡した歌論、すなわち「歌はことわるものにあらず。しらぶるものなり」とする「調べの説」を奉じ、他派と対立を重ねながら、近代性に立脚した和歌革新をはかった。熊谷直好・木下幸文・八田知紀らが傑出し、内山真弓・穂井田忠友・兄山紀成・高橋残夢・菅沼斐雄・誠拙禪師らも知られている。明治以後では、知紀門の高崎正風や渡忠秋らを筆頭に、御歌所を中心に活躍したが、その影響は大西祝・井上通泰らにも及んだ。

《山本嘉将》

桂王 けいおう 中国、南明の遺王で永明王、永曆帝とも呼ばれる。〇永明王

慶応 けいおう 孝明・明治両天皇の代の年号。一八六五(一八六八)年(慶応一)四。京都

兵乱および内外の国難により一八六五年(元治二)四月七日改元、慶応元年となり、六八年九月八日に至り、改元して次の明治元年となる。出典は『文選』に、「慶雲・輝、皇階

授木」などあるによる。徳川一四代將軍家茂および一五代慶喜の時にあたる。六七年

(慶応三)には明治天皇の踐祚、大政奉還、王政復古の大王令渙発、翌年には鳥羽伏見の

戦い、五か条の御誓文発布と多事多端の時であつた。

慶応義塾大学 けいおうぎじゅくだいがく 私立。一八五八年(安政五)福沢諭吉が江戸築地鉄砲洲に開いた蘭学私塾がその起原。のち英書講読に切り替え、明治維新直前には全国各地から青年子弟が集まり、江戸有数の英学塾となった。六八年(慶応四)芝に移転し慶応義塾と命名した。以後明治二〇年代ごろまでに幾たびか経営上の困難を切り抜けて洋書講読を中心とする「普通学」の課程を拡充、専門学中心の方向をたどっていた官立の高等教育機関に対して人文的・社会的教養教育に特色を示した。また、福沢の提唱によって義塾を会社組織とし、教師・学生を問わず、来学する者はすべて社中の一員として、塾の共同運営に当たるという特色ある運営方針を定めた。九〇年(明治二三)大学部を設立し、理財・法律・文学の三学科を設け、それまでの課程を普通部とした。これらが、それ以後の慶応義塾大学・同予科の前身である。一九一八年(大正七)には、大学部に医学科を開き、二〇年、大学令によって文・経・法・医の四学部をおく私立総合大学となった。三九年(昭和一四)には藤原工業大学を開設、四

浜口雄幸内閣の極端な緊縮財政のため失業者が増大する一方であつた。この不安な時代に生まれたのが、いわゆる「エロ・グロ・ナンセンス」の風潮で、軽演劇もそうしたものを反映していた。一九二九年(昭和四)七月、東京浅草の水族館で「カジノ・フォーリー」が旗揚げた。一座には、榎本健一(エノケン)を中心に、中村是好・岡野三郎・佐藤久雄・武智豊子らがあり、踊り子として花島喜世子・梅園竜子・望月美恵子らがいた。エノケンは、一躍浅草の人気者となったが翌年に脱退、「新カジノ・フォーリー」をへて玉木座に移った。ここには二村定一・藤原釜足らのほか、菊田一夫・菊谷米らが作者として名バロディを書いていた。エノケンはその後「ピエル・ブリアント」から松竹、さらに、東宝専属となって浅草との縁はうすれた。一方、佐々木千里の手で、三一年(昭和六)新宿に「ムーラン・ルージュ」が生まれた。文芸部

〔表a〕 安全性分析に用いる比率法

① 流動比率	=	$\frac{\text{流動資産}}{\text{流動負債}} \times 100 (\%)$
② 当座比率	=	$\frac{\text{当座資産}}{\text{流動負債}} \times 100 (\%)$
③ 負債比率	=	$\frac{\text{負債}}{\text{自己資本}} \times 100 (\%)$
④ 固定比率	=	$\frac{\text{固定資産}}{\text{自己資本}} \times 100 (\%)$
⑤ 固定長期適合率	=	$\frac{\text{固定資産}}{\text{自己資本} + \text{固定負債}} \times 100 (\%)$
⑥ 運転資本比率	=	$\frac{\text{流動資産} - \text{流動負債}}{\text{総資本}} \times 100 (\%)$
⑦ 流動回転率	=	$\frac{\text{買入債務回転率}}{\text{売上債権回転率}} \times 100 (\%)$
⑧ 買入債務回転率	=	$\frac{\text{買入債務年間支払高}}{\text{買入債務平均在高}} \times 100 (\%)$
⑧ 買入債務回転率	=	$\frac{\text{年売上高(または年仕入高)}}{\text{買入債務平均在高}} \times 100 (\%)$
⑨ 売上債権回転率	=	$\frac{\text{売上債権の年間回収高}}{\text{売上債権平均在高}} \times 100 (\%)$
⑨ 売上債権回転率	=	$\frac{\text{年売上高}}{\text{売上債権平均在高}} \times 100 (\%)$

〔表b〕 収益性分析に用いる比率法

資本利益率	
① 総資本利益率	= $\frac{\text{純利益(年額)}}{\text{総資本}} \times 100 (\%)$
② 経営資本利益率	= $\frac{\text{営業利益(年額)}}{\text{経営資本}} \times 100 (\%)$
③ 自己資本利益率	= $\frac{\text{純利益(年額)}}{\text{自己資本}} \times 100 (\%)$
④ 業務区分別資本利益率	= $\frac{\text{業務区分別利益}}{\text{業務区分別使用資本}} \times 100 (\%)$
売上高利益率	
⑤ 売上高純利益率	= $\frac{\text{純利益}}{\text{売上高}} \times 100 (\%)$
⑥ 売上高営業利益率	= $\frac{\text{営業利益}}{\text{売上高}} \times 100 (\%)$
⑦ 売上高売上総利益率	= $\frac{\text{売上総利益}}{\text{売上高}} \times 100 (\%)$
資本回転率	
⑧ 総資本回転率	= $\frac{\text{売上高(年額)}}{\text{総資本(平均)}} \times 100 (\%)$
⑨ 経営資本回転率	= $\frac{\text{売上高(年額)}}{\text{経営資本(平均)}} \times 100 (\%)$
⑩ 自己資本回転率	= $\frac{\text{売上高(年額)}}{\text{自己資本(平均)}} \times 100 (\%)$
⑪ 業務区分別資本回転率	= $\frac{\text{業務区分別売上高(年額)}}{\text{業務区分別使用資本(平均)}} \times 100 (\%)$
⑫ 総資本利益率	= $\frac{\text{純利益}}{\text{総資本}} = \frac{\text{純利益}}{\text{売上高}} \times \frac{\text{売上高}}{\text{総資本}} = \text{売上高純利益率} \times \text{総資本回転率}$

四年にはこれを併合して工学部とした。第二次世界大戦後、四九年には新制大学に再編、横浜市港北区の吉吉には旧予科を再編して教養課程をおいた。五一年には大学院を開設。なお、五三年には、日本最初の図書館学専門教育課程として図書館学科（のち図書館・情報学科と改称）を開設した。現在、文学・経済・法学・商学・医学・工学の六学部と大学院および付属高等学校・幼稚園などがある。福沢の残した個人主義的・実学主義の学風のもとに、すでに明治期から実業界に多くの人材を送り出しており、官学の官僚養成中心主義とは異なる特色を示した。在学生も、ほかの大学に比べ、管理者層・自家営業者層の子弟が比較的多い。このほか、医学・文学などの分野でも、特色ある業績を示している。学生総数約二万三〇〇〇。

東京都港区三田

京王帝都電鉄株

京王帝都電鉄株（けいおうていどうてんてつ）東京の新宿―八王子間（京王線）、渋谷―吉祥寺間（井の頭線）を幹線とする私鉄会社。乗合・観光バスの自動車業、宅地の造成・分譲、および広告・遊園・不動産などの事業を兼営している。一九一〇年（明治四三）、京王電気軌道として創業。一三年（大正二）、新宿―調布間を開業。一方、井の頭線は、二八年（昭和三）、東京山手急行電鉄会社の名で発足し、三三年、帝都電鉄会社と改称。翌年全線開通した。四八年京王電気軌道と合併し現社名となる。最近では、七四年に相模原線の京王よりランドー京王多摩センター間が開通した。七九年三月現在の鉄道営業キロ数は七六・〇キ。資本金一六五億円。年間鉄道収入二五二億円（九八）。

本社（東京都新宿区新宿三丁目）

軽音楽（けいおんがく）クラシック（純音楽）

に対して、より通俗的・大衆的な音楽をさす。厳密に定義された用語ではなく、ジャズ・シャンソン・歌謡曲などを便宜的に総称している。英語の「ライト・ミュージック」はこれよりも狭義の概念で、クラシック曲のなかで通俗性のあるもの、または通俗的に編曲されたものをさしている。

警告器

けいおんき 道路交通法の用語で、クラクションのこと。クラクション

荆軻

けいか（？前二三）中国、戦国時代の刺客。衛の人。読書撃剣を好み、燕の太子丹に招かれ客となり荆軻・慶卿と呼ばれた。丹に秦の侵略した土地を取り返すか、秦王政（始皇帝）を刺殺することを頼まれた。そこで彼は秦の亡將樊於期（のちの韓の督亢の地図をもつて）を出発し、易水（のちの易水）のほとりまで太子と別れるとき「風蕭蕭として易水寒し、壯士一去（つぎ）去（さ）りてまた還ら（か）ず」と歌った。彼は秦にはいり、秦王に謁して王を殺そうとしたが果たさず、殺された。

（太田幸男）

惠果

けいか（？前二三）中国、唐代の僧。陝西省の人。はじめ長安の青竜寺の曇首に、ついで大興善寺の不空三蔵に師事して密教を学び、その秘奥をきわめた。代宗の帰依を受けて内道場の護持僧となり、また青竜寺の東塔院に住して密教を広め、ついで徳宗・順宗の崇敬を受け、三朝の国師と仰がれた。また民衆教化にも努め、門下には義明・義円・弁弘・慧日・義操・惟上ら多くの人材を輩出し、八〇五年には日本の空海が青竜寺において恵果から金剛界・胎藏界の灌頂（かんじょう）をうけ、付法の弟子となったが、この年の暮れ恵果は寂した。義操が師のあとをついで青竜寺主となり、空海は恵果追悼の碑文を書き、帰国して真言宗を開いた。日本の真言宗では、恵果を真言付法（しんごんけ）の八祖の中の第七祖と仰ぐ。著に『十八契印』『灌頂儀軌』などがある。

（勝又俊教）

珪華

けいか たんぱく石の一種。珪酸分を含む温泉から沈殿し、過去の堆積物として地層中に層をなし、また現在の沈殿物として温泉湧出孔周囲に円錐状をなし、温泉川底に皮殻状に産する。多くは灰白色で多孔質ときに緻密質の不規則な塊をなし、草状を呈することもある。しばしば植物やカタツムリの印痕を有



神奈川県足柄下郡箱根山産（×0.28）



ケイガイ 花期に全草を干し、薬用とする

する。神奈川県箱根地方では蛇骨石（へいこくせき）と古来有名で、青森県忍野（しののへ）では高さ二・五メートル、径三メートルに達する鐘丘（かねがき）になっている。珪華（けい）ははじめ非晶質の珪酸として沈殿し、ただちにたんぱく石となり、まれに長い間に結晶が進んで玉髓（たまぐさ）や石英（じやうぎん）まで変化する。〔桜井欽一〕
現下（げんげ） 高徳の僧に對する敬称。現座（げんざ） 現は獅子のことで、王者をよぶの語で、ふつう各宗の管長をよぶ尊称であるが、真宗では本願寺門主か、それに準ずる人に用いる。

ケイガイ

【荆芥】 *Schizonepeta tenuifolia* Briquet シツ科の一年草。アリタソウともいふ。中国北部原産。栽培は中国では広くおこなわれているが、日本では少ない。高さ六〇〜八〇センチ、メント（メント）を主成分とする精油を一〜二％含有するため、全体に強いにおいがある。茎は直立し、四稜形で基部はやや紫色を呈し、上部は分枝し、全体に柔らかな短毛を生じる。葉は対生し葉柄があり、葉身は羽状に深く三〜五裂し、裂片は線形をなし、長さ一・五〜二センチで全縁、葉脈は明らかでない。夏、枝端にまばらな花序をつけ、唇形花を開く。花冠は小さく淡紫紅色、上唇は二裂し小さく、下唇は三裂し大きい。萼は先で五裂し、雄しべは四個、上唇につく二個は短く、下唇につく二個は長い。子房は四裂し、柱頭は二裂する。

（幸井俊栄）

警告色

けいかいしよく 周囲の色にくらべて

（長沢元夫）

目だつような色彩や模様をもつ動物の体色。毒やいやな味をもっていて、それを食べたものに不快な刺激を与える動物には、多くのハチの黄と黒の縞模様や、有毒な毛虫・毒ヘビなどのどきつい色彩など、よく目だつた色彩をしていられるものが多い。このような色彩は、自分が危険な動物であることを敵に明示して警戒させ、食われるのを避ける意味をもつと考えられたため、警戒色（けいけいしき）とよばれている。事実、多くの実験や観察によると、一度ハチを食べて口の中を刺された経験をもつ小鳥は、以後は同じような色彩の虫を避けるようになる。つまり、いくつもの個体の犠牲によって、同じ種の多数の個体が危険からののがれうることになる。ハチなどでは、多くの種がみな似かよった警戒色をもっているの、ある一つの種の個体の犠牲が他の種をも利すると考えられる。このような警戒色の効果は、同時ににせの警戒色（けいけいしき）の現象も生んだ。威嚇（きく）色の効果は学習を必要としない点で異なる。

珪灰石

けいかいせき Wollastonite 三斜晶系に属する鉱物。成分 CaSiO_3 でふつう繊維状・細柱状な



福岡県吉原鉱山産（×0.5）

でガラス様光沢をもつ。亜半透明ないし半透明、条痕は白色である。主として石灰岩と深成岩の接解帯に産し、透輝石・ざくろ石と共出することが多く、日本の石灰岩の接解帯にふつうに見られる。滋賀県大津市石山寺の境内に露出しているものはとくに有名で天然記念物に指定されている。なお珪灰石にはこのほか同成分で単斜晶系に属するバラ珪灰石があり、外観では珪灰石と区別が困難である。

日本各地の珪灰石と称するものの一部はこれに属するといわれている。

珪灰鉄鉱 けいかくていこう Lievite または

Itaite 斜方晶系に属する鉱物。成分は $\text{CaFe}_2^{10}\text{Fe}(\text{OH})\text{Si}_2\text{O}_7$ で、菱柱状の結晶をなすことが多く、ときに塊状である。柱面には縦の条線がはいりしる。硬度五・五〜六・〇、比重四・〇前後。鉄黒色または灰黒色で条痕は黒色、不透明で亜金属光沢をもち、塩酸でたやすく分解する。理論的には酸化鉄(Ⅲ)一九・六％、酸化鉄(Ⅱ)三五・二％を有するが、鉄鉱としては利用されていない。主として接融鉱床中に産し、日本では岐阜県神岡鉱山、山口県喜多平鉱山、大分県尾平鉱山その他から柱状の結晶をなして産する。また、まれに花崗岩の晶洞に産し、大阪府豊能郡能勢町では小結晶を産する。

圭角 けいかく 「圭」は上方がとがって下部が四角な玉。玉のかどの意から、言語や動作にかどがあって穏当を欠き、他とうまく融け合わないことをいう。ときに玉のかどの鋭さになんで、才能・識見が他にぬきん出て

いる意にも用いる。

経学 けいがく 儒学の聖典である経書に関する解釈学。儒家の解釈学は、文字の意義を説明することに重点を置く訓詁学と、思想的・形而上的な研究である性理学に大別できるが、経学は、狭義では、前者をさす。弓儒学計画経済 けいかくけいぎ 単一の国家ないし計画当局によって、財貨の生産・分配・消費が計画化され管理されている国民経済をいう。

およそ経済過程は、第一にある期間に生産すべき生産財・消費財の種類と数量、第二にこれを生産するための生産要素(土地・労働・資本・資源など)の配分を決定しなければならぬ。生産手段の私有を前提とする資本主義経済下では、これが企業・個人の利潤・効用の極大化という行動原則によって、価格のメカニズムを通じて無政府制におこなわれるのが原則であり、戦時における統制経済などを除けば、計画化しうる部分は局部的にすぎない。したがってこれらの過程を完全に計画化して管理しうるのは、生産手段を公有化した社会主義経済以外にはない。これら

を、市場経済・流通経済と中央管理経済として対比させることもある。

〔計画経済の理論〕計画経済ないし社会主義経済は、典型的に強権制社会主義と自由制社会主義に分けられる。前者は、いっさいの生産要素・生産物の種類・数量・価格が計画当局によって決定される計画経済である。後者は、職業選択と消費財選択の自由を認め、この面には価格のメカニズムを働かせようとする計画経済である。社会主義経済成立の初期においては、前者が唯一の計画経済の類型であると考えられ、そこでは経済計算が不可能であり、したがって適正な資源配分ができないという批判が強かった。これに対して自由制社会主義下では経済計算が可能であると

する立場が現れた。現実にも、第二次世界大戦後のソ連および東欧社会主義国は、しだいに後者の型になりつつある。

また、かつては、社会主義経済においては、すべての経済数量が物理的数量と労働時間表現によって示されるべきだと考えられたが、これも現実には不可能であり、価格および価格の指標にもとづく経済数量が、経済計算の基礎となっている。↓経済計算論

〔計画経済の問題点〕計画経済は単一計画にもとづいて整合的におこなわれなければならない。しかし、計画当局がこれを中央集権的に直接かつ画一的におこなえば、スターリン体制下のソ連経済におけるように、官僚制と勤労大衆の創造力抑圧による非効率化が避けられない。したがって計画の決定・実施は、ある程度まで地方分権化されなければならない。しかし分権化のいきすぎは、フルシチョフ体制下のような計画の多元化、ひいては無計画化をもたらす。この両者のバランスこそが、社会主義計画経済のアクセシブルである。

↓社会主義経済

M・Z・ボール著、平館利雄・宮下誠一郎共訳『社会主義計画経済入門』(一九七〇年・新評論)▽K・ボルヴィット著、尾上久雄・阪本靖郎共訳『計画経済の理論モデル』(一九七〇年・日本評論社)

planned economy ④ Planwirtschaft

計画都市 けいかくとし 計画的に建設された都市。奈良時代の平城京、近世の大阪、また

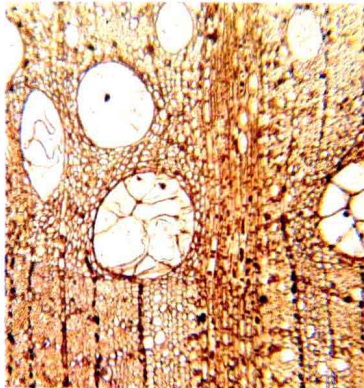
はニューヨーク・キャンベラ・ブラジリアなどがその代表的な例である。都市は自然に発生し、成長する場合が多いが、政治・植民・産業立地の理由によって、まったく新たに計画されたり、混雑した都市に臨海工業地区やニュータウンを設けるなどの部分的な計画もおこなわれる。↓都市計画

軽歌劇 けいかげき オペレッタ(イギリスではライット・オペラ)と同じ意に用いられる。

経過分析 けいこうぶんせき 国民所得や投資などの経済数量が変動していく過程を分析する経済分析の一手法。経済変動の過程を時間の経過にそって逐次追跡していくもので、時間のある断続的な期間にくぎつて、それぞれの期間における経済変数の関係を分析し、その変動過程を明らかにするものや、時間を連続的な経過としてとらえ、経済変数の変化率の間の関係を分析することによって、その変動過程を説明するものがある。⑤志田 明

珪化木 けいかくぼく 樹幹が地層中に埋没し、材質中に地下水にとけた珪酸塩がしみこみ、のち結晶が析出して樹幹全体が珪質化したものをいう。日本では北九州・北海道の古第三紀層や、能登・佐渡などを中心として本州の日本海斜面に広く発達する第三紀中新世層から多産する。珪化木には木材の微細な構造が保存され、樹種の類縁を知りうるものが多い。したがってその研究は葉や果実の印痕化石、花粉分析などとともに、植物化石研究の

珪化木 ナラの一種で、各組織がはつきり残っている(約五・〇倍)



重要な一分野をなすもので、植物種の盛衰だけでなく、古植物地理・古気候・地質層位などに大きな意義をもっている。⑥宜理俊次

刑冠 けいかん イバラ(刑)でつくった冠。キリストがゴルゴタの丘で十字架にかかって処刑されたとき、それをかぶせられたことから、受難の意に用いられる。

挂冠 けいかん 「かいかん」ともいう。「挂」は掛けることで、官職にある者が制服の冠を脱いで物に掛ける意。転じて、官職を辞することをいう。中国後漢の逢萌が王莽にわが子を殺害され、冠を東都(洛陽)の城門に掛けて遼東に去ったという故事(『後漢書』逢萌伝)にもとづく。

炯眼 けいがん 「炯」はあきらか、光の意。光り輝く目の意から、鋭い眼力、物事の真相を見抜く力をいう。

珪岩 けいがん ほとんど石英からなる砂岩の砂粒の間隙が、二次的にできた石英によって完全にみたまされていく岩石。変成作用を受けていないものは正珪岩とよばれることがあり、無水珪酸が石英粒のまわりに結晶し、各石英粒が増大したようになっていることが多い。変成岩の珪岩と一見区別しにくい。主として石英からなる粒状の変成岩に対しても用いられる。他の堆積岩と互層して産し、砂岩または珪質岩から変成してできたと考えられている。原岩の不純物は、変成度に応じて、種々の変成鉱物に変化している。⑦斎藤靖二

鶏眼 けいがん 皮膚の角質が増殖する疾患の一種で、うおのめ・底まめなどの俗称で知られる。鶏眼はドイツ語の Hühnerauge を直訳した医学用語。英語は corn で、角という意味のギリシア語に由来する。⑧うおのめ

桂冠詩人 けいかんしじん Poet Laureate

イギリスでもっとも名誉ある詩人の称号。宮内官として年俸をうけ、王室の慶弔に際して詩を献じる。終身制で、現在では首相の推薦で任命される。アポロにさきげられた桂冠は、古くから詩人や英雄に、その栄誉をたたえて与えられている。この称号は、ジェームズ一世が一六一七年にベン・ジョンソンに与えたのが最初であるが、正式には一六七〇年、ジョン・ドライデンが任命され、年俸三〇〇ポンドとカナリア諸島のぶどう酒一樽を与えら

れた。その後、サウジー・ワーズワース・テニソン・ブリッジエズの詩人が継承し、一九六八年には、ジョン・メース・フィールドのあとをうけて、推理作家としても知られるC.D.ルイスが就任した。

鶏冠石 けいかんせき *Realgar* 単斜晶系に属する鉱物。成分As₂S₃で理論的には硫黄二九・九％、砒素七〇・一％を含む。多くは塊状・粒状をなすが、ときには柱状の結晶形を示す。硬度一・五〜二・〇と柔らかく、比重は三・四〜三・六である。特有のオーロラ赤色で結晶形を示すものは透明である。条痕は橙黄色、直射日光に長くさらすと分解して赤黄色になる。金剛光沢または脂肪光沢で、火中に入ると白色の煙をあげてニンニクのように似た砒素臭を出す。主として金属鉱脈中に産し、一般に低温で生成する。日本では宮城県栗原郡栗駒町と群馬県甘楽郡下仁田町の両鉱山ではこれを主とする鉱脈があり、北海道手稲鉱山、兵庫県生野鉱山などでは金・銀・銅鉱脈に伴って少量産する。また青森県恐山や秋田県玉川温泉では火山の噴気孔中に昇華物として、それに温泉の沈殿物としても産する。発煙剤・花火の原料などに使用されている。



北海道札幌市手稲鉱山産(×0.8)

景観地理学 けいかんちりがく 一定の地域に付随する特定の外観あるいは景色を景観と呼び、自然景観と人文景観とがある。地球表面に生起する自然現象および人文現象を景観を通じて認識し、その景観を分析・総合することによって地理的事象を明らかにしようとする地理学の一部門を景観地理学という。一九一九年にオーストリアのハッシーンガー・H. Haslinger がはじめて *Landschaft* (景観) という言葉を用い、その後ドイツのパスサルゲ・S. Passarge が景観地理学の基礎を確立した。日本でも一九三〇年代に一時盛んであったが、研究法に定性的な欠点があるため、あまり進展していない。

（桜井欽一）

京漢鉄道 けいかんてつどう チンハンてつどう 中国、北京と漢口（武漢市の一部で揚子江の北岸）を結んだ一二二〇キロの鉄道。一九〇五年ベルギー財団の手によって完成された。その後清朝はイギリス・フランス両国の銀行からの借款によって権利を財団から買い戻し国有鉄道とした。しかし、この返済のため最後は日本の横濱正金銀行から借款をしなければならず、資本の点では外国に依存していた。国民政府のもとでは平漢鉄道と改称され、日中戦争中は破壊を受けた。人民共和國成立後、南部の粵漢鉄道（武昌・広州）に結ばれ、京広鉄道と称される。↓京広鉄道（青木千枝子）

頸管裂傷 けいかんれっしょう 子宮頸部から子宮頸部に及ぶ裂傷をいう。おもに分娩時にみられ、子宮頸管の開大不十分なきををはじめ、牽出術・鉗子術・回転術などによる急速分娩や急速分娩におこりやすい。自然分娩でも、子宮發育不全・高年初産・瘻痕などによる頸管の伸展性不足があればみられる。初産婦では軽度裂傷を生ずるが、少量の出血のほか、なんらの障害もおこさない。頸部全長だけでなく、まれには腹壁まで穿孔することがあり、とくに子宮動脈の断裂があれば出血性ショックになる。

処置としては、ただちに縫合し、止血するが、輸血や輸液をすることもあつた。小さな裂傷は自然になおるが、縫合しないで放置したものは瘻痕を残して頸管が変形し、陳旧性頸管裂傷をおこして不妊や流産の原因になることもある。

（野嶽幸雄）

るので摩擦がある。実験室で使われるか、振動の多いところで使われるかはとくに可動部分の重量・強度に関連する。その他、塵埃の有無や温度変化・気圧変化・有害ガス・湿気・爆発の危険性のあるところに使われる計器など、同じ物理量を測定するにしてもいろいろの原理・構造のものがあつて、使用には目的に合ったものを選ぶことがたいせつである。

【産業用計器】一八世紀後半、蒸気動力の発明により急激に発達した機械力は、さらに電気動力・原子動力の利用に発展し、合成化学・電子技術の進歩は工業生産設備をますます巨大で精密なものにした。また近代工業の過程はひじょうに複雑であるが、原材料を生産設備に投入し、動力・熱などのエネルギーを加えて、反応・加工・組立てなどをおこなうことは共通であり、これらの生産の初めから終りまでを、合理的に管理し、市場の求める品質のものを安価に提供しなければならぬ。したがって、操作する人の勘と熟練だけにたよらずに、寸法・温度・湿度・圧力・濃度・電圧・電流・重量・流量などの物理量を計器で測定し、個人差や不注意による品質の不良、加工の誤差をなくすようになり、ついで計器が自分で適・不適の判断をし、作業の命令・操縦までやるようになってきた。日本では一八九六年（明治二九）船の蒸気圧の測定のため、ブルドン管を使った圧力計の生産を開始したのが「計器」という言葉の使われはじめといわれている。最近の石油化学工場・製鉄所・発電所などでは工場各部署の状況が計器により、中央の集中管理室に報告され、数人の計器監視員で操作がおこなわれている。さらに電子回路・空圧回路・油圧回路などとの組合せによって、工場自動化や無人運転がおこなわれ、また電子計算機に製品分析結果を導入し、自動的圧力・温度・配合などのコントロールをおこなっている。

運航されている。航法用計器としては古くから用いられている地磁気を測定して方位を知る磁気コンパス、天体を観測する六分儀などのほか、地球の自転を感じて、回転体の軸を北に指向させるジャイロコンパス、コンパスと船の舵を連続した自動操縦装置も一般的である。暗夜でも電波をだして障害物を発見したり、物標を認識するレーダー、遠い洋上でロラン局の電波を受けて船の位置を確認するロラン、無線局の方位を測定する方向探知器などの各種電波応用計器がある。そのほか船の運動を示す測程儀（速度計）・傾斜計・航路記録計・示量計（積荷の状態を示す）・喫水計・液面計などが広く用いられる。また海底の状態や海の深さを測定する測深儀、魚を発見する魚群探知器なども用途により用いられる。船の機関の運転用計器としての各種動力計・回転計・圧力計・流量計・温度計などは大型船ではほとんど操縦室に集中管理され、ここで遠隔操縦・自動操縦されている。さらに機関に異常が発生したときに警報を発したり、修正措置をとる監視用計器も発達し、この分野でも無人化が進められている。

航空機用の計器は、場所にも重量にも制限を受け、さらに飛行速度の増大や操作運航の危険性を考え、計器類は極度に小型・軽量・精巧なものが要求され、サーボ機構による自動操作が多く使われる。水平儀・定針儀・旋回計・速度計・加速度計・昇降計・高度計・ジャイロコンパスなどは計器飛行に必要な計器で、各種の無線計器・自動操縦装置・自動方向探知器も、長距離の飛行の安全を確保するために重要である。最近発達しつつある自動着陸装置は、滑走路の端から発する電波のピームのついで飛行機の方向がコントロールされ、高度・速度・着陸姿勢が自動的に作動するもので、操縦者の負担を軽くすることができ、それだけに計器の精度と操縦装置の安全性が一段と問題になってくる。（真木守俊）

契機 けいき *metre* *mesneur* *Messer* ラテン語の *momentum* を語源とするヨーロッパ諸語の *moment* の訳語で日常語としては、あるものごとの原因、あるいは転機・きっかけを意味するものとして使われる。原語の本来の意味は、*mouere*（動かす）